週刊 YEAR BOOK

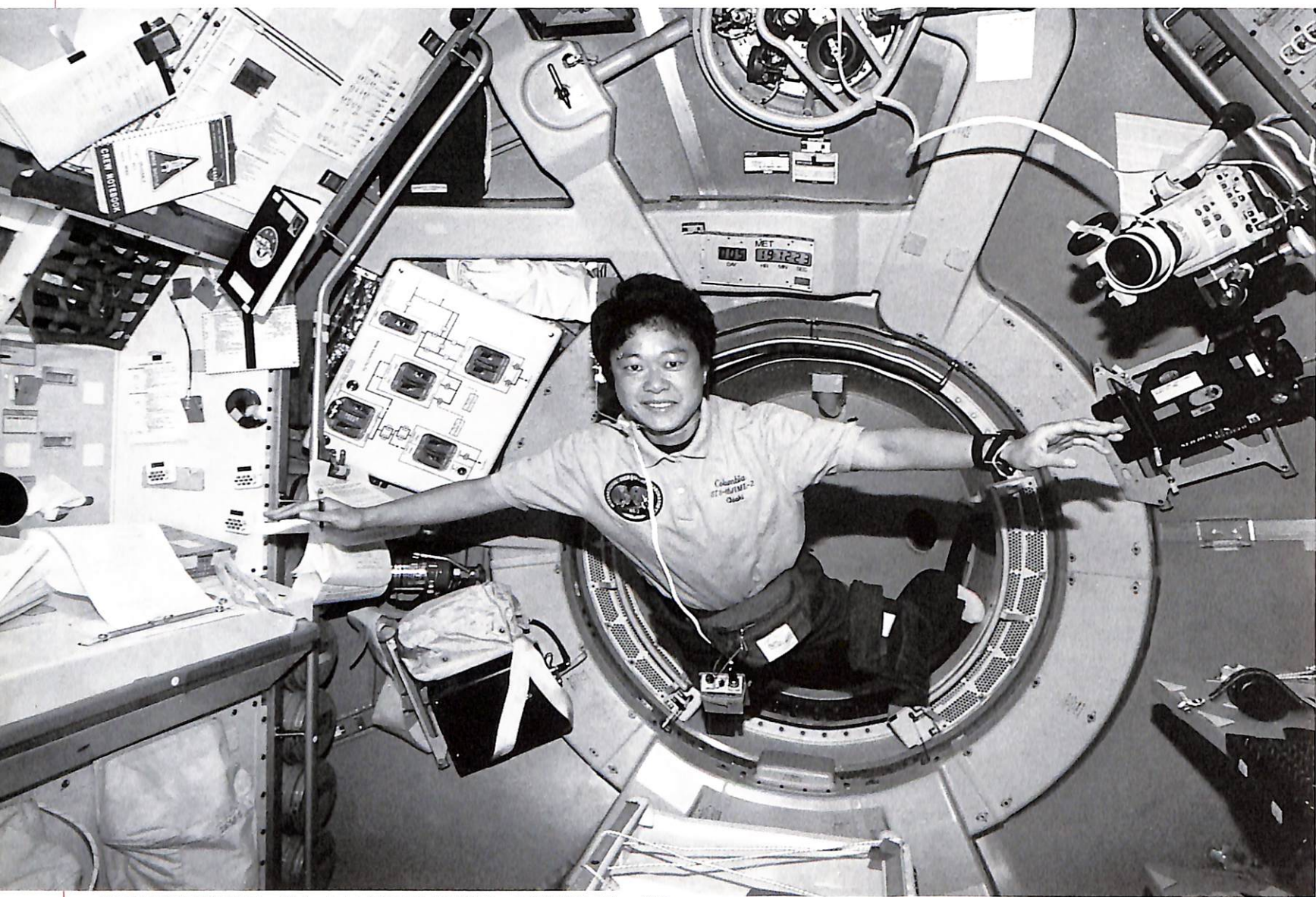
1994 平成6年

日録20世紀

1|19
平成11年1月19日発行
（毎週1回火曜日発行）
第3巻第2号 通巻94号
平成10年8月21日第三種郵便物認可
¥560
講談社

向井千秋さん、宇宙へ！

河野義行氏が語る松本サリン事件と冤罪の構図
平成「米騒動」と"自由化"のカラクリ！
最後のカリスマ・金日成急逝の大波紋！

「天女になって飛んでいる感じ」と偉業達成!
アジア初の女性宇宙飛行士が選んだ 向井千秋さんと夫の
新しい夫婦のあり方
「宇宙」への旅だち

▲無重力状態での活動は、連日、テレビ画面で伝えられた。この写真はクルーが撮影したもので、実験室に移動するところ。 NASA ユニフォト・プレス

▲船内活動を開始した向井千秋さん。宇宙実験室に入り、カイワレダイコンの入った栽培実験ケースを掲げてみせる。 共同通信社

▲「コロンビア」の乗組員は7人。3人が操縦を、4人が実験を担当した。向井千秋さんの右が、船長のロバート・カバナ米海兵隊大佐(45)。過去2回、シャトルに搭乗している。 NASA ユニフォト・プレス

◎表紙 7月8日、向井千秋さんを乗せたスペースシャトル「コロンビア」が、ケネディ宇宙センターから打ち上げられた。オレンジ色の宇宙服に身を包んだ、出発直前の向井さん。 朝日新聞社

▶7月23日、大任をはたして無事帰還した向井千秋さん。笑顔で記者会見にのぞむ。 読売新聞社

アメリカが「アポロ11号」で月に人間を送りこんでから四半世紀、日本人女性というより、アジア人女性として初めての宇宙飛行士・向井千秋さんが、スペースシャトルで宇宙に飛び立った。そして女性の連続宇宙滞在時間世界記録を樹立、二週間後、無事、地球に帰還した。

打ち上げから八分三八秒 無重力状態の宇宙に突入

「固体燃料ロケットが吐き出す白煙と炎が青空に向かってきれいな一本の線を作っていくと、私の頭の中はもう真っ白、行け！ 頼むから宇宙まで無事に飛んで行ってくれ！ 茫然としたまま、胸がドキドキするばかりでした」

発射台から約五キロ離れた打ち上げ管制センターの屋上でその瞬間を見守った、向井千秋さんの夫・向井万起男氏（現・五一歳＝慶応大学医学部助教授）の回想談だ。

一九九四年七月八日、米東部夏時間午後零時四三分（日本時間九日午前一時四三分）、フロリダ州ケネディ宇宙センター1の発射台、39Aから七人の宇宙飛行士が乗りこむスペースシャトル「コロンビア」が、抜けるような青空の下、宇宙へ向かって飛び出した。

打ち上げ四五秒後、速度は音速に達し、シートに仰向けに座る宇宙飛行士には地球の重力の一・四倍という力が加わる。そして二分七秒後、高度約四五キロに達すると、ガクンという音とともに固体燃料ロケットが機体から切り離された。

その瞬間、宇宙飛行士たちは、互いに手を伸ばして握手し、喜びを確かめ合った。八年前の一九八六年一月、固体燃料ロケットの故障のため、打ち上げ直後、空中爆発を起こした「チャレンジャー」の悲劇が避けられたからだ。

発射台から約六キロ離れた観覧席には、千秋さん（四二）の両親の姿があった。父親の内藤喜久男さん（六九）は「シャトルを信頼しているのでそんなに心配していない。楽しく充実した一四日間を過ごしてほしい」（「朝日新聞」七月九日）と語った。また約九キロ離れた見学席には、千秋さんの出身地、群馬県館林市から来

た「向井千秋さんを励ます会」のメンバー約一〇〇人をはじめ、早慶戦の応援に使う三角帽を片手に「千秋、万歳」を繰り返すグループなど、総勢約三五〇人の応援団が陣取り、打ち上げ成功の瞬間、「ワーッ」という歓声を上げた。

グングン上昇する「コロンビア」の速度は秒速八キロに近づき、宇宙飛行士たちは地球の重力の三倍の力で座席に押しつけられていた。そして打ち上げから八分三八秒後、ついに秒速八キロに達すると、船長のロバート・カバナ(四五)の声が船内に響いた。

「メインエンジン、カットオフ」

「コロンビア」にはもうエンジンは必要なくなった。一周約九〇分で地球のまわりを飛び続けるだけだ。

「無重力だ。ついに宇宙に来た」

クルーの間に感動がこみあげる。四〇分後には、フライト・デッキ(操縦室)のカバナ船長が千秋さんに声をかけた。

「ここに来いよ、地球が見えるぞ」↖

▲予定より1日遅れの7月23日、シャトル着陸のニュースに沸く館林市の子どもたち。NASAは「飛行は大成功」と発表した。 朝日新聞社

▲夫の万起男氏(右)が待ち受ける中、会心の笑みを浮かべて帰還。 AP WWP

「天女になって飛んでいる感じ」と偉業達成!
アジア初の女性宇宙飛行士が選んだ新しい夫婦のあり方

向井千秋さんと夫の「宇宙」への旅だち

◀向井千秋さんは、学生時代に下宿していたお宅でお茶やお花を習っており、この写真はお茶会の際に〝お見合い写真〟として撮影されたもの。

松原光一提供

そこはインド洋上空だった。青い海の上に白い絹糸で作ったような雲がかかった地球が、暗黒の中にぽっかりと浮かんでいた。

「なんて荘厳で気品があるんだろう、地球の姿って! まるで貴婦人のようだ」(向井万起男『女房が宇宙を飛んだ』講談社刊)

それは、「地球を丸ごと見たい」という千秋さんの長年の夢が実現した瞬間であった。

結婚して始まった〝船乗り夫婦〟生活

「私は女房が宇宙に滞在中、心配で心配で何も手につかない状態。NASAセレクトという宇宙飛行の二四時間生中継ケーブルテレビを、ひたすら見続けていました。女房のタイムスケジュールに合わせて寝起きしていましたが、気が気じゃなくて、酒の量もグーンとふえました。飲まずにいられなかったのです。私にとっては、生涯で最も長い二週間でした」

こうした夫・万起男氏の心配をよそに、千秋さんは与えられた実験課題を次々にこなし、一四日の未明には、館林市の中学生と無線で交信し、「天女になって飛んでいる感じ」と地上に元気なメッセージを送り届けた。

万起男氏と千秋さんが結婚したのは、千秋さんが宇宙飛行士に決定した翌年、一九八六年一二月のことであった。

「船乗りのようなタイプの人で、ずっと離れていても安心できる結婚がいい」

千秋さんの言葉だが、妻の側が船乗り役の〝船乗り夫婦〟生活が始まった。万起男氏にも不満はなかった。出会いから結婚まで一一年、〝一番親しい友人〟として彼女の生い立ち、独立独歩の生き方を充分理解した万起男氏は、ひとつの結論に達していた。

「〝みなし児一人旅〟をしている女を、男の力で変えられるなんて考えてはいけないんだ。成り行きにまかせるしかない」

悪天候のため帰還が一日延期された七月二三日、米東部夏時間の午前六時三八分、「コロンビア」は時速三五〇キロで滑走路に進入、一四日と一七時間五五分という最長飛行記録を打ち立て、地球を二三六周、飛行距離九八八万七〇〇〇キロという偉業をなしとげたのだ。それは、女性としては世界で二六番目、一回のフライトでは女性の連続宇宙滞在時間世界記録を達成しての帰還であった。

着陸した千秋さんは、起立性の低血圧検査のためストレッチャーに乗ったまま、出迎えの万起男氏と対面した。

万起男氏の第一声は、「チアキちゃんわかるかい? 君は世界記録を作ったんだ」。しかし、千秋さんにはあまりピンとこなかった。彼女にとっては、記録よりも宇宙に行ってきたという夢の実現がすべてだったに違いない。もちろん万起男氏にも、それはわかっていた。

「結婚した女性であっても、その人が強烈にやりたいことがあるのなら、その思いをとことんかなえてあげたい」

万起男氏の熱いエールを受けて、千秋さんは一九九八年一〇月二九日、J・グレン上院議員(当時・七七歳)らとともに「ディスカバリー」で再び宇宙へ旅だち、任務をみごとにこなしたのである。

「ミニ動物園」を運びこむ

スペースシャトル「コロンビア」打ち上げの目的は、「IML2」(第2次国際微小重力実験室)と呼ばれるもので、世界各国が開発した実験装置を使い宇宙実験を行うことであった。参加したのは日本、アメリカなど13ヵ国、2週間で82もの科学実験が待ちかまえていた。

機内には、メダカやイモリのほかにも、金魚やクラゲ、ウニ、ハエ、粘菌など数多くの生き物が運びこまれた。そのため、「コロンビア」は「ミニ動物園」とも呼ばれていた。

それは、無重力状態での生体変化や宇宙での新鮮な食料確保の可能性、放射線の影響、子孫の存続などについての手がかりをさがすためのものだった。

また、人体に有害な宇宙放射線を物理的な手法で精密に観測することや、放射線の強烈な日を予告する「宇宙天気予報」の準備のための研究も行われた。

そのほか、実験テーマには、微小重力下で背が伸びる現象が、神経にどんな変化を与えるか、そして体液が重力の有無で身体や意識にどのような影響をおよぼすかを調べる下半身陰圧負荷実験などの、人体実験も含まれていた。

実験テーマの約半分は微小重力科学、残りは生命科学に関するものだった。

共同通信社

▲「コロンビア」に設置される宇宙実験室の内部を、事前に点検する向井千秋さん。

深夜の住宅地を襲ったオウム真理教の〝狂気〟
死者七人、重軽症者六〇〇人の大惨事！

松本サリン事件　被害者・河野義行氏が語る「冤罪の構造」

▲6月27日深夜、松本市内の住宅街で突然、十数世帯の住民が頭痛や息苦しさを訴えて次々に倒れ、病院に運ばれた。原因は有毒ガスで、有機リン酸系のサリンと判明。　信濃毎日新聞社

オウム真理教の〝狂気〟が引き起こした「松本サリン事件」は、警察が「第一通報者」の河野義行氏に見当違いの〝予断〟を持ったことから、解決まで一年を要した。被害者から一転して被疑者とされた彼は、「河野に年越しそばを食わせるな」を合い言葉にした長野県警に対し、みずからの冤罪を晴らすため立ちあがる。

オウム真理教の信者が噴霧器でサリンを散布

「警察と緊迫した駆け引きを続けていたこの年の夏は、逮捕も覚悟していました。子どもに土地の権利書などを渡し、『刑務所に入ることになったら、俺は牢名主になるぞ』なんて軽口をたたいていた。そんな冗談を口にせざるをえないところまで、追いつめられていたのです」

平成六年六月二七日夜に起きた「松本サリン事件」で、家族はもとよりみずからも重症におちいった被害者でありながら、「被疑者」として警察の取り調べを受けた河野義行氏（現・四八歳）は、静かな口調で当時を振り返る――。

「妻の様子がおかしいんです。苦しんでいます。救急車をお願いします」

河野氏の妻・澄子さん（四六）が「気分が悪い」と言い出したのは、夫妻がNHKの番組「ふたりのビッグショー」を夜一〇時四〇分に見終わった後のことだった。やがて、口から泡を吹き苦しみ始めた澄子さんを見て、河野氏は午後一一時九分、松本広域消防局へ事件発生後最初の通報を行う。

原因は、河野家の裏にある駐車場で、村井秀夫（三五＝故人）をリーダーとするオウム真理教信者が、トラックに設置した噴霧器で散布したと言われるサリンだった。

一一時一四分、救急隊が現場に到着し、意識のない澄子さん、嘔吐を繰り返していた河野氏、長女の真澄さん（一七）、症状の出ていない長男の仁志さん（一六）の四人を病院に移送。救急車が河野家を後にすると、あたりは静寂を取り戻したが、第一報から三九分後の一一時四八分、今度は近くの「開智ハイツ」に住む男性から「体調がおかしい」との第二報が、午前零時五分には近所の「松本レックスハイツ」に住む女性から悲鳴まじりの第三報が入ると、事態は最悪の方向へ展開する。

計五一人もの消防隊員が、近辺の集合住宅で反応のない部屋のドアを手当たり次第に破壊し、夜を徹しての救出作業を進めたが、結果として死者七人、重軽症者六〇〇人の大惨事に発展したのである。

◀六月二八日早朝、圧縮空気入りタンクを背負って、被害にあったマンションに入る長野県警機動救助隊。

朝日新聞社（2点とも）

ところが事件は、最初から警察の〝予断〟によって、真実とかけ離れた方向へ進んでいった。二八日の深夜、河野氏の病室を訪れた松本警察署の岡本武署長は、いきなり「何があったんですか。正直に言ってくださいよ」という台詞を吐く。河野氏はこれを皮切りに、自白強要にいたる強引な捜査を受けることになる。

まずウソ発見器にかけて「お前が犯人だ」と怒鳴る

河野氏によれば、警察が彼を犯人視し始めたきっかけはごく些細なことだった。

「警察は、遺言の意味で、僕が長男に言った『ダメかもしれない』という言葉を、事件を起こしたわが身を悲観したものと受け取り、さらに二八日午前一時、病室で長男に捜査への協力を指示した会話を、『家宅捜索も覚悟しろ』と示唆した発言と勘違いして、あやしいという先入観を増幅させていったようです」

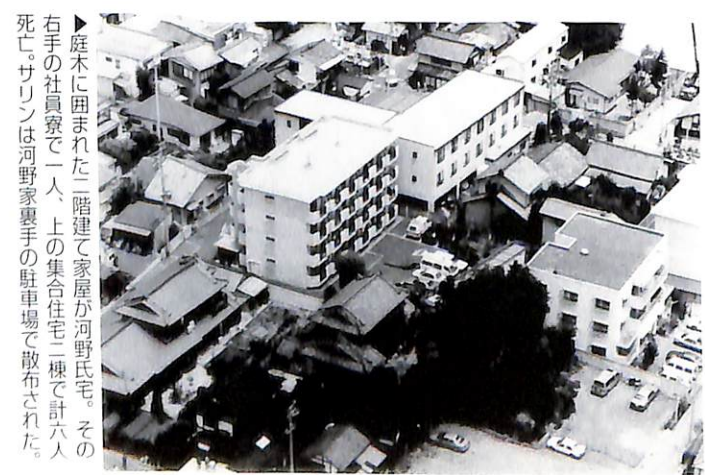
元共同通信記者で、今は同志社大学教授の浅野健一氏も、次のように指摘する。

「河野家に薬品があっただけでなく、河野氏が転職を繰り返していたこと、引っ越してきた〝よそもの〟だったのも、警察が初期段階で犯人視した理由でした」

事実、警察は二八日夜から河野家の家宅捜索に踏み切り、マスコミもそれと歩調をそろえて、河野氏容疑者説を補強していく。

「警察が記者に意図的にリークする情報をもとに、記事が書かれていることなど知りませんでした。それで、新聞社やテレビ局を訴えようと、事件発生の三日目に永田恒治弁護士に依頼したんです」（河野氏）

ところがこれも、「被害者がなぜ弁護士を」と、疑惑を深める結果になる。

退院後の七月三〇日、松本署に出向いた河野氏に対して、警察がまず行ったのはウソ発見器にかけることだった。取り調べ後、担当の警部は、「薬品入り容器

▶庭木に囲まれた二階建て家屋が河野氏宅。その右手の社員寮で一人、上の集合住宅二棟で計六人死亡。サリンは河野家裏手の駐車場で散布された。

を隠すように息子に指示したかという質問で、反応が出た」と彼に語ったという。翌日は、刑事が入室するなり、「お前が犯人だ」と怒鳴り、自白を強要。抗議する河野氏に、「これも捜査手法のひとつ」と言い放った。なお、松本警察署の広報担当はこの件に関し、「署長や警部が異動して詳細は不明だが、捜査は適正に行われたと思う」とコメントしている。

この時初めて、「冤罪をこうむるかもしれないと感じた」河野氏は、永田弁護士と相談し、八月から事件を客観的に取り上げる番組などに出演。所持する薬品や住居でサリンが作れるかどうかを学者に検証してもらうなど、警察に逮捕させないための牽制手段を講じていった。

結果的には、翌平成七年の元旦、「読売新聞」が「山梨県でサリン残留物質検出」というスクープを掲載し、その年六月一二日に当局が事件をオウムの犯行と断定して容疑は晴れるのだが、今回の体験を通し、「誰もが冤罪の被害者になりうると実感した」と河野氏は語る。

「県警内にも、僕の犯行を否定する捜査員はいたのに、そうした意見の持ち主は配置転換されているんです。警察は、自分たちの筋書きに合った情報だけを選び、都合の悪い話は排除する。その構造を支えるマスコミの責任もまた大きいですね。警察が貼りつけた犯人のレッテルを新聞・雑誌、テレビが世間に吹聴し、『あいつを早く捕まえろ』という世論を作る。これが冤罪を生むのです」（河野氏）

「松本サリン事件」では、まさに典型的な冤罪の構図が描かれたわけだが、同時に、「捜査が〝予断〟にとらわれないで進んでいたら、平成七年三月二〇日の『地下鉄サリン事件』発生にも影響を与えていたのでは」という被害者の声も根強い。

「教訓が生きていれば救いはあります。ところがマスコミは相変わらず警察情報に依存し、警察の御先棒かつぎと化して容疑と関係ない被疑者の私生活を暴き、疑惑を増幅させるやり方は変わっていない。『松本サリン事件』の教訓が生かされているとは、とても言えないのです」（浅野教授）

河野氏の妻・澄子さんは、事件から四年以上たった今も意識が戻っていない。ただし、献身的な家族の介護によって、少しずつではあるが声を発するところまで回復してきているという。

▲平成8年2月、サリン事件の被害者を支援する、チャリティコンサートに招待された河野夫妻。澄子さんは、河野氏に抱きかかえられて着席した。 読売新聞社

▶記者会見にのぞむ故・村井秀夫（中央）。松本サリン事件では、噴霧器を製作し総指揮をとった。 共同通信社

女たちの肖像

「同情するなら金をくれ」平均視聴率は二五％！安達祐実がテレビを席巻

稲葉真弓

この年四月、日本全国を席巻した子役がいる。安達祐実、一二歳。日本テレビ系のドラマ「家なき子」で、数々の苦難に遭うヒロイン・相沢鈴役を演じ、ドラマの中の台詞「同情するなら金をくれ」を、たちまち流行語にしてしまった少女である。

このドラマは、平均視聴率二四・七％、最終回では三七％を記録したが、同時に日本テレビへの抗議と苦情も殺到した。「小学生の女の子が、カネ、カネと連発するのはおかしい」「貧乏人を差別している」といった内容だが、人気はうなぎのぼりで、続編や映画版「家なき子」も登場。同時に不穏な事件も起こった。平成六年一二月、映画公開直前に、日本テレビに安達祐実宛の爆発物入り封書が届き、それを開いたマネージャーが指を吹き飛ばされたのである。少女を主役にしたドラマは、奇しくもこの事件によって、少女を標的にする社会そのものの歪みをあぶり出したのである。

話題の少女・安達祐実は、昭和五六年、東京生まれ。芸能界にデビューしたのはわずか二歳の時だった。母親がモデルクラブに写真を送ったことがきっかけで、昭和五九年、子どもモデルとしてデビュー。商品パンフレットやCFに出ていたが、平成四年、ハウス食品のカレーCF「具が大きい」で一躍人気者になった。同年八月には女優としてドラマに初出演。翌五年、角川映画「REX恐竜物語」に主演して、日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞した。

〝日本一忙しい小学生〟と言われた彼女の、平成五年のCM出演本数は九本。〝年間収入八〇〇〇万円！〟と書き立てられたおとな顔負けの売れっ子ぶりだったが、国民的アイドルのイメージを決定づけたのは「家なき子」である。

以後の彼女は、歌手としてアルバムもリリース。歌に演技にと幅を広げ、平成九年にはテレビドラマ「ガラスの仮面」に主演、またまたマスコミの話題をさらった。

素顔の彼女は根っからの仕事好き。高熱があっても点滴を受けながら撮影に駆けつける根性が持ち味で、平成九年八月には、史上最年少座長として新宿コマ劇場でミュージカル「オズの魔法使い」に主演。わずか一六歳で芸能界歴一四年という〝小さな大女優〟に育ちつつある。

ちなみに、安達家は兄の和也もタレントとして活躍中。二人を育てた母親の長谷川有里も、今、〝元祖・チャイドルの母〟として脚光をあびているそうだ。

▶「家なき子」は、売れっ子脚本家・野島伸司が企画。 日本テレビ提供

勝者・敗者

カズがPKを決めた！Jリーグ〝初代王者〟ヴェルディのプライド

阿部珠樹

前年の平成五年五月、Jリーグがスタートした。日本サッカー界で待望久しかったプロリーグが、いよいよ誕生したのだ。「メキシコ五輪で銅メダルを獲得しながら、その後、世界の水準から引き離される一方だったサッカー再生の起爆剤に」——関係者の期待は大きかった。しかし、反響はその期待を大きく上回るものだった。真新しい天然芝のグラウンド、ジーコ、リネカーなど、かつて世界を沸かせた名選手たちの妙技、スピード感あふれる試合展開、サポーターと呼ばれる応援のスタイルも、マンネリ化したプロ野球の鉦や太鼓に比べると新鮮に見えた。会場はどこも満員、チケットは〝プラチナペーパー〟扱いだった。

二期制で行われた最初のシーズン、前半のステージを制したのは、〝神様〟ジーコに率いられた鹿島アントラーズだった。だが、後半に入ると、ヴェルディ川崎が巻き返す。日本リーグ当時から、企業チームと一線を画すクラブチームとして、プロリーグの先導役を自任してきたヴェルディには、プライドがあった。鹿島は外国人をのぞけば、日本リーグの二部暮らしが長かった住友金属の選手が中心。年俸にしても自分たちには一億円プレーヤーがいる。初代王者だけは譲れない。後半のステージを制したヴェルディは、平成六年一月、初代王者を決めるチャンピオンシップで、鹿島と激突する。緒戦を三浦知良（二六）の一ゴール、一アシストの活躍でものにしたヴェルディは、一月一六日の二戦目も、一点リードを許しながら、後半三七分、PKのチャンスをつかむ。この判定に怒ったジーコが、ボールにつばを吐きかけ、退場になるという騒動もあったが、ヴェルディはこの騒ぎにも動ぜず、カズが冷静にPKを決め、引き分けに持ちこみ、ついに初代王者の栄冠を手にした。

前評判では圧倒的に有利と言われたヴェルディだったが、さすがに初代王者の重圧は大きく、勝利の後の選手たちの顔には、喜びよりも安堵感が強く表れていたのが印象的だった。

▲この年6月、カズはイタリア・セリエA、ジェノアへ、レンタル移籍する。 報知新聞社

ニュース・ファイル 1994

フォト＋日録で再現する365日

反自民の細川政権を継いだ羽田内閣が崩壊、自・社連立の村山内閣に代わった。日本経済は、円高が進行し巨額な貿易黒字を生んで世界の批判をあび、企業にリストラを強いた。そんな中、「長嶋巨人」初の日本一、貴乃花が横綱に昇進、大江健三郎がノーベル賞を受賞した。

◀大江健三郎（59）に、ノーベル賞（12月10日）「現代における人間の様相を衝撃的に描いた」が理由。日本人の文学賞は川端康成に続き二人目。写真は、ストックホルムで「あいまいな日本の私」を講演する大江。
プレッセンス・ビルド／PANA通信社

毎日新聞社

▲「半透明ゴミ袋」スタート（1月17日）ゴミの分別を徹底するため、ポリ容器などに替えて東京都が実施。プライバシーや袋の有料化が問題になったが、導入する自治体が相次いだ。

読売新聞社

▲汚された「富士風穴」（1月7日）山梨県・富士山麓の国の天然記念物内部に、発泡スチロール片などが散乱。フジテレビが前年、「とんねるず」の番組で使用した結果。県は原状回復を指示した。写真は、調査する県職員。

AP／WWP

▶メキシコで先住民蜂起（1月1日）サパティスタ国民解放軍が、先住民の貧困からの解放を求め、武装蜂起。南部のチアパス州で軍施設などを襲撃、多数が死亡。2月になって和平に応じた。写真は、誘拐された元州知事。

読売新聞社

▲薬師三尊像、大修理（1月16日）奈良・薬師寺が傷みの激しい本文の薬師如来坐像、脇侍の日光・月光両菩薩立像の補強・さび落としなどに着手。4年がかりで、費用4億5000万円。

共同通信社

▲川崎公害訴訟、国の責任否定（1月25日）横浜地裁が気管支喘息などの原因を工場排煙と断定、被告企業に賠償を命じた。しかし、自動車の排ガスなど、国の責任は認めなかった。

共同通信社

◀自衛隊に女性パイロット誕生（1月21日）千葉県の海上自衛隊下総基地で、宮本寛子2等海尉（25）が夢を実現。「航空記章」を得て厚木基地に就任、P3C対潜哨戒機などのテスト飛行に従事した。

平成6年1月

1（土）●メキシコの先住民ゲリラ組織が貧困の改善を要求し武装蜂起、政府軍と衝突し六五人死亡。
2（日）●日本の若者の職場への満足度は英・米・比など一一ヵ国中で最低と、総務庁が発表。
3（月）●景気後退で地方税が一七年ぶり減収と自治省。
4（火）●米国のテレビCMが、エイズ予防のためコンドーム使用キャンペーンの放映開始。
5（水）●全日本柔道連盟、カラー柔道着を採用するハンガリー国際大会のボイコットを決定。
6（木）●政府、緊急雇用対策本部を設置。初会合。
7（金）●第二電電、PHS事業の全国展開参入を表明。
8（土）●日中外相会談、中国のガット加盟で合意。
9（日）●天台宗が仏教史上初の僧侶公募、と新聞に。
10（月）●大手機械製造のオークマ、定年を六〇歳から五六歳に引き下げ。約一五〇人が解雇対象。
11（火）●永野日経連会長、春闘のベアゼロ方針を表明。
12（水）●亜細亜大、自動車通学者の即時停学を決定。
13（木）●東京・昭島市の夫婦が「悪魔」という名の出生届認めよと東京家裁八王子支部に申し立て。
14（金）●米・ロ・ウクライナ三国、戦略核の全廃を声明。
15（土）●米国中西部・北東部で一〇三年ぶりの大寒波（20日までに全米で一三〇人死亡）。
16（日）●ヴェルディ川崎がJリーグ初代チャンピオン。
17（月）●ロサンゼルスでM六・八の地震、死者六一人。
18（火）●閣議、公共工事の対外開放策を含む入札改善計画を了承（米政府、日本への経済制裁回避）。
19（水）●NASA、二一年ぶりに月探査機を打ち上げ。
20（木）●大阪市、二〇〇八年五輪の誘致を発表。
21（金）●厚生省調べで男性の肺癌死が胃癌抜き一位に。
22（土）●バーンズ・コレクション展を東京の国立西洋美術館で開催。作品八〇点を展示。
23（日）●東京マラソンで片岡純子が国内最高で初優勝。
24（月）●厚生省、大型テレビ、冷蔵庫など粗大ゴミ四品目の販売業者回収責任制を決定。
●喜多郎、「天と地」で米ゴールデン・グローブ賞。
25（火）●新潟大倫理委、遺伝子治療の臨床応用を承認。
●ベトナム共産党、ドイモイ（刷新）路線を採択。
26（水）●大阪府警、愛犬家四人失踪で犬の訓練士逮捕。
27（木）●スーパーなどの販売額が二一年ぶり前年割れ。
28（金）●通産省の諮問機関が大店法の規制緩和を答申。
29（土）●東京の大学生の収入が三〇年ぶり減少、賃貸住まいで月一三万二七〇〇円と大学生協連。
30（日）●テニスの伊達公子、日本女子初の世界七位。
31（月）●東京・中野区、教育委員の準公選制廃止案可決。

▲ニセ1万円札450枚押収(2月27日)東京・上野の貴金属店で韓国人を逮捕。宿泊先で本格的に偽造した大量のニセ札を発見、背後の組織を予想させた。写真は、そで口が細工された犯人の背広。

毎日新聞社

▲リレハンメル冬季五輪(2月22日)ノルウェーで夏・冬分離の初の大会。日本は金1、銀2、銅2。写真はジャンプで金を逃した西方、原田、葛西、岡部(左から)。

読売新聞社

◀ツシマヤマネコ、希少種に指定(3月1日)長崎県対馬の上県町にのみ、100匹以下しかいないため、「絶滅のおそれのある野生動植物種の保存法」に基づき保護。人工繁殖もはかることになった。

◀初の純国産ロケット成功(2月4日)宇宙開発事業団が種子島宇宙センターから大型ロケット「H-2」を発射。二つの搭載衛星を軌道に乗せた。開発10年、ついに日本は「宇宙先進国」入りをはたした。

読売新聞社

▼富士フイルム専務が刺殺(2月28日)夜、自宅玄関前で襲われた。長く総務を担当。警視庁は総会屋の恨みを買ったとみて捜査、10月に暴力団員二人を逮捕した。

読売新聞社

AP・WWP

▲パレスチナ人に銃乱射(2月25日)イスラエル占領の聖地で早朝礼拝中に、ユダヤ教過激組織が襲撃、63人が死亡。前年「和平合意」ができたばかりだった。

読売新聞社

平成6年2月

1(火)●ハワイ出身の小錦、日本国籍を取得。
2(水)●日本IBM、全管理職に年俸制導入と発表。
3(木)●細川護煕首相、六兆円減税と三年後の国民福祉税創設を未明に発表(4日、白紙撤回)。
4(金)●初の純国産ロケット「H-2」、打ち上げ成功。
5(土)●セルビア人勢力がサラエボを砲撃、六八人死亡(28日NATO軍創設以来初の武力行使)。
●警視庁、交番に初の「KOBAN」の文字表示。
6(日)●中国で香港と合弁の大亜湾原発が運転開始。
7(月)●元韓国人従軍慰安婦らが旧日本軍人の責任者を東京地検に告訴。地検は受理せず。
8(火)●最高裁、大阪府水道部接待費訴訟で、情報公開訴訟では初の全面開示を命じる判決。
9(水)●最高裁初の女性判事に高橋久子が就任。
10(木)●米国の自動車メーカー・GM、四年ぶり黒字に。
11(金)●食糧庁、都内でカリフォルニア産米を試験販売(3月1日、輸入米の本格的な販売開始)。
12(土)●リレハンメル冬季五輪開幕(~27日、日本はノルディック複合団体などメダル五個)。
●天皇・皇后、初の硫黄島訪問。
13(日)●大蔵省、公立学校のクーラー設置を承認。
14(月)●不法就労など外国人雇用犯罪が倍増と警察庁。
15(火)●冬山が悪天候でこの日までに登山者九人死亡。
16(水)●スマトラ島でM六・五の地震、一三四人死亡。
17(木)●中原中也記念館が山口市にオープン。
●米国の前年の対日赤字五九三億㌦で過去最高。
18(金)●京都・高台寺の霊屋の修理完成し公開。
19(土)●大都市の私立大受験者が不況で激減と新聞に。
20(日)●中国の小学生修学旅行団三二人来日(~26日)。
21(月)●警視庁、自販機の路上はみ出しを道交法違反で日本たばこ産業幹部ら一五一人を書類送検。
22(火)●大蔵省、カラーテレビが円高と海外生産の進展で初の輸入超過と発表。
23(水)●占い師の藤田小女姫と長男がハワイで殺害。
24(木)●都教委、志望校を一校だけ受験する単独選抜制入試を実施。欠席率高く都立高離れ進む。
25(金)●パレスチナのヘブロンでイスラエル人入植者が銃を乱射、パレスチナ人六三人を殺害。
26(土)●先進七ヵ国蔵相・中央銀行総裁会議(G7)で、日本の巨額黒字に批判集中、市場開放迫る。
27(日)●山形市で東南アジア系窃盗団「爆窃団」が、一億二〇〇〇万円相当の貴金属を窃盗。
28(月)●総会屋対策担当の富士フイルム専務が刺殺される(10月17日、暴力団員二人を逮捕)。

「FRIDAY」/小檜山毅彦

▲小錦に帰化認可(2月1日)これで日本国籍を有するものと規定された年寄襲名が可能に。日本名、塩田八十吉。ハワイ出身の30歳。膝の故障で力士生命があやぶまれていた。

▶テレビ発火に製造物責任(3月29日)事務所が全焼した会社の訴えを認め、大阪地裁が松下電器に賠償命令。6月のPL法成立に影響を与えた。写真は、判決を評価する弁護団。

毎日新聞社

読売新聞社

▲グリコ事件の時効成立(3月21日)発端となった江崎グリコ社長誘拐から10年。青酸混入菓子をばらまき、食品会社を脅した「かい人21面相」の犯行中で、捜査中は1件だけになった。

ユニフォトプレス

▲あの「ネッシー」はウソ!(3月13日)英・ネス湖の怪獣とされた60年前の写真を、関係者が潜水艦の模型だったと告白。しかし、最近、大生物存在の調査報告もあり、伝説は生きている。

毎日新聞社

▲吉本、東京に進出(3月27日)常設劇場「銀座7丁目劇場」を開場。無名の若手に、観客が熱狂的応援。翌年には渋谷にも進出し、西も東も吉本の「笑い」が席巻した。

毎日新聞社

▲ゼネコン汚職で中村喜四郎前建設相を逮捕(3月11日)鹿島建設などの、公取委の刑事告発防止要請を、1000万円で承諾した容疑。写真は中村(44)。公判まで完黙を貫くが、一審は有罪で控訴中。

平成6年3月

1(火)●ダイエー、忠実屋など三社を吸収合併。
2(水)●海岸浸食が全国で急速に拡大と建設省土木研。
3(木)●九州自動車道で福岡市の美容師の両腕を発見(15日、同僚女性を殺人容疑で逮捕)。
●クリントン米大統領、スーパー三〇一条の復活を宣言し、日本に市場開放を強く求める。
4(金)●薬事審、禁煙助けるニコチンガムの輸入承認。
5(土)●日本商事の役員らがソリブジン副作用による死亡例公表前に、自社株売却の事実が判明。
6(日)●横浜に「新横浜ラーメン博物館」オープン。
7(月)●食糧庁、国産米不足で輸入米とのブレンド販売決定(7月15日消費者の反発で単品販売に)。
8(火)●台湾が日本映画の輸入を全面解禁と発表。
9(水)●名古屋第一赤十字病院、米国提供の骨髄を日本人患者二人に移植し成功と発表。
10(木)●政府、九二億円のカンボジア復興支援を決定。
11(金)●中村喜四郎前建設相、収賄容疑で逮捕。
12(土)●携帯電話などの市場開放で日米交渉が決着。
13(日)●英紙、一九三四年に発表されたネス湖の怪獣ネッシーの写真はトリック写真だったと報道。
14(月)●東京都、都立病院にホスピス病棟設置を決定。
15(火)●NHK、四五〇〇人削減など合理化案を発表。
16(水)●米、厚木基地工事談合の約七〇社に賠償請求。
17(木)●グアム島沖で三七日間漂流の沖縄漁民ら救助。
18(金)●総務庁、サラリーマン世帯の負債は平均三五九万円で、前年の一五・五㌫増と発表。
19(土)●冷凍食品が定着し新商品の開発活発と新聞に。
20(日)●チュニスでイスラエルとPLOが協議開始。
21(月)●スピルバーグ監督の映画「シンドラーのリスト」が、アカデミー賞七部門で受賞。
●グリコ・森永事件の発端となったグリコ社長誘拐事件、一〇年経過で時効成立。
22(火)●岡山県ブナ原生林保全で毛無山一帯を買収。
23(水)●永六輔、『大往生』を刊行。
24(木)●電機など春闘回答は三㌫で春闘史上最低水準。
25(金)●米・ロサンゼルスで邦人留学生二人が銃撃され死亡(30日、中南米系米国人二人を逮捕)。
26(土)●選抜野球で金沢高・中野真博投手が完全試合。
27(日)●吉本興業、東京で「銀座7丁目劇場」を開場。
28(月)●オゾン層破壊は地球全体に拡大と気象庁。
29(火)●第二次大戦中、強制労働の中国人が蜂起した秋田県・花岡鉱山が資源枯渇や円高で閉山。
30(水)●異例の厳戒態勢下で一五六社が一斉株主総会。
31(木)●対共産圏輸出統制委員会(ココム)が解散。

共同通信社

▲**名古屋で中華航空機墜落(4月26日)**台北発のエアバスが着陸に失敗し、滑走路に激突・炎上。264人が死亡。原因はハイテク機器の操作をめぐる混乱だった。

◀**酒類にも「価格破壊」(4月14日)**円高とメーカーからの直接輸入で実現した。スーパー最大手のダイエーが日本酒以外の全品を値下げ(写真)、他社も追随した。

共同通信社

毎日新聞社

▶**サハリン残留日本人、故国へ(4月28日)**太平洋戦争後、旧樺太に残った日本人54人が、北海道の稚内港に上陸。写真は、47年ぶりの再会を喜ぶ姉妹。

▶**「携帯電話時代」スタート(4月1日)**規制緩和で携帯電話の買い取り制が実現。基本料金が半分、電話機も6万円台に。写真は、東京でのキャンペーン。

毎日新聞社

▼**「最後の審判」の修復完成(4月11日)**日本テレビが協力、バチカン・システィナ礼拝堂のミケランジェロの大壁画が復活。写真は、法王・パウロ2世の記念ミサ。

AP WWP

読売新聞社

◀**さびしい入学式(4月6日)**都心の過疎化で、新1年生が10人未満の小学校は23区内で11校。写真は、区立渋谷小学校の入学式で、この年はついに一人。

平成6年4月

1(金)●NHK、朝鮮半島の地名を現地読みに変更。
●警察官の制服が二六年ぶりに変わる。
2(土)●新入社員研修は海外研修中止など費用削減や「即戦力」養成をはかる企業が目立つと新聞に。
3(日)●中国・華北で「今世紀最大」の干ばつと外電。
4(月)●血友病患者らが安部英元帝京大副学長を殺人未遂容疑で告発(5月11日、地検が受理)。
5(火)●動燃の高速増殖炉「もんじゅ」が臨界到達。
6(水)●ルワンダとブルンジの両大統領、専用機撃墜され死亡。ルワンダで大量虐殺始まる。
7(木)●東京六大学野球が女子選手登録を容認。
8(金)●大蔵・郵政両省、預貯金金利完全自由化で合意。
9(土)●鹿島石油、為替の先物取引失敗で一五二五億円の含み損発生と公表。
10(日)●欧米への就職や留学の若者が急増、と新聞に。
11(月)●宮崎県立五ケ瀬中学高校が開校。公立の全寮制中高一貫校。全国で初めて。
12(火)●警視庁、催眠療法でテレビ出演の男性を無資格診療で逮捕。猥褻被害も多数。
13(水)●キヤノン、目の動きでピントが合う世界初の視線入力型ビデオカメラを発表。
14(木)●大阪に「アジア太平洋トレードセンター」開業。
15(金)●世界貿易機関(WTO)の設立が正式決定。
16(土)●野島伸司企画・安達祐実主演のドラマ「家なき子」(日本テレビ)、放映開始。
17(日)●皐月賞でナリタブライアン優勝(12月25日、有馬記念も制し四冠馬に)。
18(月)●米国、大陸間弾道ミサイル一五〇基を撤去。
19(火)●日航、業績悪化で四三〇〇人の削減を発表。
20(水)●初の保健士(保健婦資格の男性)六七人が誕生。
21(木)●前年のマルチ商法被害者は平成四年の五倍、一六万三五〇〇人で若者に急増、と新聞に。
22(金)●警視庁に初の女性機動隊誕生。総勢五一人。
23(土)●徳島県高体連、学校間の総合得点制廃止決定。
24(日)●米政府、日本の内需拡大で所得税減税を要求。
25(月)●宝塚市に手塚治虫記念館オープン。
26(火)●中華航空機が名古屋空港で着陸に失敗し炎上、七人助かり二六四人が死亡。
27(水)●法務省、帰化申請者の指紋原紙の廃棄表明。
28(木)●伊大統領、「メディアの帝王」ベルルスコーニを首班指名(5月11日極右政党含め組閣)。
29(金)●労働省、実質賃金が一三年ぶり減少と発表。
30(土)●円高・運賃値下げ・長期休暇でゴールデンウィークは空前の海外旅行ブーム、と新聞に。

AP/WWP

▲**ユーロトンネル開通(5月6日)**ドーバー海峡の海底で英仏が陸続きに。全長約50キロ。写真は、仏・カレーでの開通式に出席した、ミッテラン仏大統領とエリザベス英女王。

▼**貴金属1億円分消える(5月21日)**未明、名古屋の宝石店・美宝堂で警報装置が作動したため警察官が出動。しかし、鉄製シャッターが焼き切られ(写真)、犯人は逃走していた。

読売新聞社

証言・あの日この日
加茂　周(54)

1月1日(土)　〈一九九四年元旦。時間は午後四時を回ろうとしていた。冬の太陽は西に傾き、弱くフィールドを照らしていた。第73回天皇杯全日本選手権大会の決勝戦は、ドラマチックなフィナーレを迎えようとしていた。わが横浜フリューゲルスは鹿島アントラーズと元旦の国立競技場で対戦した〉(加茂周『モダンサッカーへの挑戦』)

Jリーグ誕生とともに、日本サッカーはブラジルやヨーロッパからジーコやリトバルスキーのようなスター選手を迎え、国際化が急速に進んだ。監督も外国人監督がふえる中で、横浜フリューゲルスの加茂周監督は、日本人監督として異彩を放っていた。Jリーグでは優勝できなかったが、この日、天皇杯でジーコを擁する鹿島アントラーズを延長戦のすえ倒し、優勝する。そして加茂は、この年12月、日本代表の監督に就任する。(山崎行太郎)

AP/WWP

▲**パレスチナ自治始まる(5月13日)**前年の和平合意で、イスラエル軍が撤退。ヨルダン川西岸・エリコに、先行自治政府が成立。写真は、旧警察署前で歓喜の市民。

読売新聞社

▲**ソルジェニーツィン(75)、20年ぶり故国へ(5月27日)**『収容所群島』で知られるノーベル賞作家が国外追放を解かれ、米国での亡命生活に幕。写真は、ウラジオストク空港で。右は夫人、左は子息。

共同通信社

◀**永野茂門法相、陳謝(5月6日)**「南京大虐殺はでっちあげ」などと発言。韓国・中国が猛反発し、翌日、就任後わずか10日目で辞任した。8月14日には、村山内閣の桜井環境庁長官が、侵略戦争否定の発言で更迭された。

平成6年5月

1(日)●伊のF1レースでブラジルのアイルトン・セナが壁に激突し死亡(同国は三日間服喪)。
2(月)●中国銀行、復帰控え初の香港ドル紙幣を発行。
3(火)●永野茂門法相、新聞のインタビューで「南京大虐殺はでっちあげ」と発言(7日、辞任)。
4(水)●日・米・欧、ドル買いで大規模協調介入。
5(木)●米国の学者が南極で恐竜の化石発見、と外電。
6(金)●英仏間の地下トンネル、ユーロトンネル開通。
7(土)●尊厳ある全人的ケアと死を求め「日本ホスピス・リビングウィル協会」発足。
8(日)●軽自動車メーカー六社、排気量七七〇ccへの引き上げなど新規格決める、と新聞に。
9(月)●南アのマンデラ議長、大統領に就任。
10(火)●ホテル・ニュージャパン火災で、禁固三年確定の八〇歳の横井英樹前社長が収監される。
11(水)●コンビニ強盗多発し前年分の三三件と新聞に。
12(木)●マツダ、次年度大卒採用ゼロと決定。大手で初。
13(金)●セ・リーグ、頭部への死球は即投手退場と決定。
14(土)●紳士服の流行がソフトスーツや明るい色から、紺やグレーの地味なものに逆戻り、と新聞に。
15(日)●セガ・エンタープライゼス、CATV回線でのゲームソフト配信を六月に開始と発表。
16(月)●ニュージーランド産リンゴ、神戸港に初上陸。
●高額納税者番付でサラ金経営者が上位進出。
17(火)●独、国連常任理事国入り希望、拒否権も要求。
18(水)●巨人の槙原寛己投手、一六年ぶり完全試合。
19(木)●建設省、魚類調査で長良川河口堰ゲート閉鎖。
20(金)●東京高裁、昭和六一年に自殺の鹿川裕史君への「いじめ」を認定。都などに賠償支払命令。
21(土)●公立美術館の新設続き特色作り難航と新聞に。
22(日)●江田五月、菅直人らの社会民主連合解散。
23(月)●福岡県教委、全国初の指導要録全面開示決定。
24(火)●日産、一〇〇万円を切る「サニー」を発売。
●都職員七二五人募集に二万三〇〇三人が応募。
25(水)●法務省、戸籍の名前に俗字使用認める決定。
26(木)●IWC、南極海での全クジラ類禁漁を採択。
●日本学術会議、条件つきで尊厳死認める。
27(金)●経団連総会、会長に豊田章一郎を選出。
28(土)●キューバの経済悪化で亡命希望者急増と外電。
29(日)●愛知県警、収賄容疑で奥田信之副知事を逮捕。
30(月)●東京地裁、阿部文男元北海道・沖縄開発庁長官に懲役三年の実刑判決。
31(火)●電通審、民間主導で二〇一〇年目標に全家庭に接続する光ファイバー網整備を答申。

日録20世紀1994 6月

共同通信社

▲**大関若ノ花（23）が結婚（6月2日）**新婦は元日航スチュワーデス・栗尾美恵子さん（25）。芸能人ら900人が出席し、東京のホテルで披露宴、7月の「カド番」にかける大関を励ました。

◀**冷媒フロン、回収（6月8日）**オゾン層保護のため、東京都は粗大ゴミの冷蔵庫から着手。冷蔵庫の冷媒管から吸い取り、ボンベへ。年間約2万台を対象とした。

読売新聞社

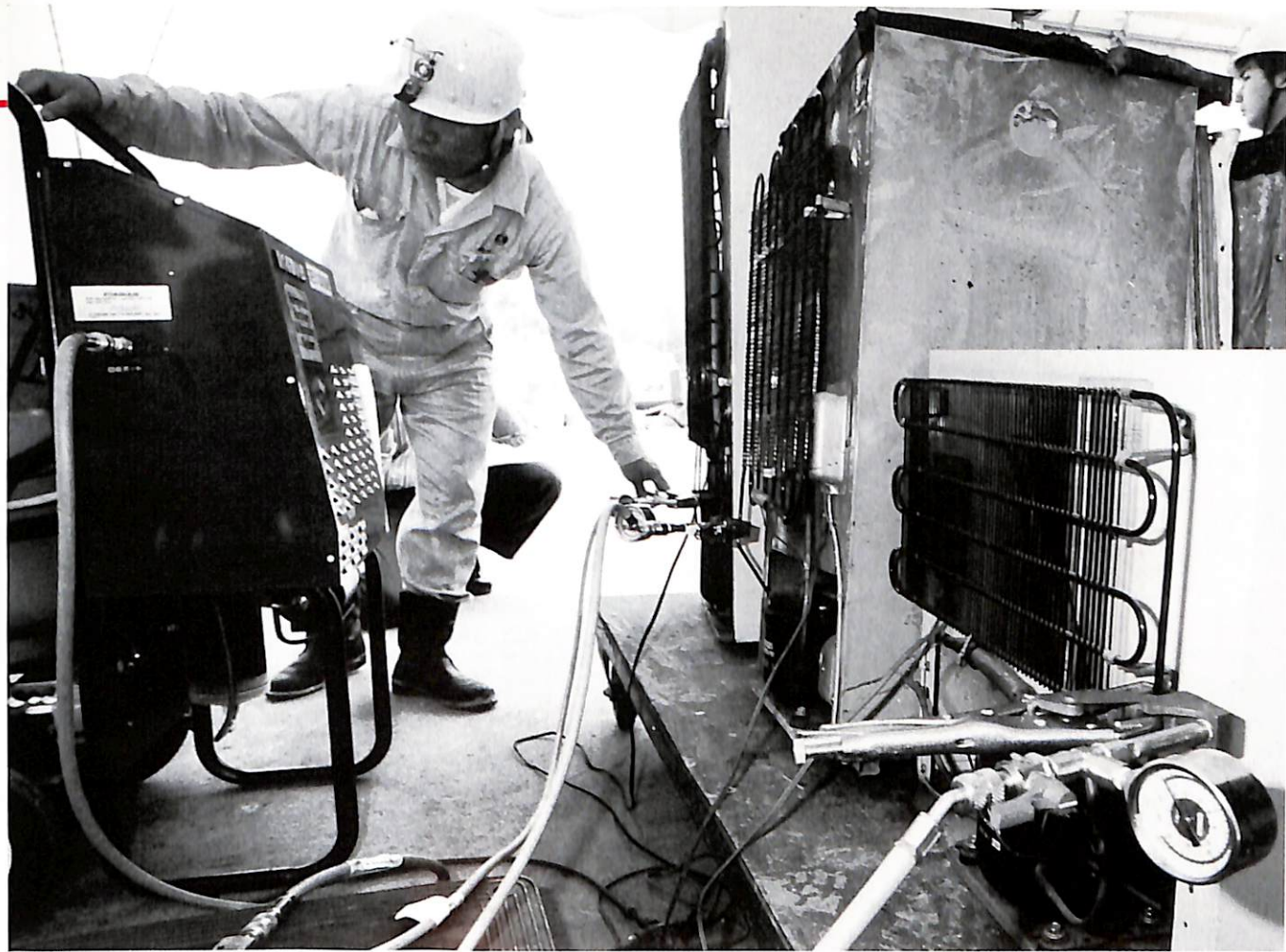
▼**平安建都1200年（6月6日）**794年、奈良から都を移して以来の京都発展を祝い、春からもりだくさんのイベントを開催。この日、平安京の正門・羅城門を思わせるステージで、雅楽、平家琵琶、ロックなどが演奏された。

読売新聞社

▶**世界一周ヨットレースで「YAMAHA」艇優勝（6月3日）**前年9月に英・サウサンプトンを出発、約6万キロを走破。写真は、10人のニュージーランドクルーと、日本人初参加・初優勝の小松一憲（46）。

読売新聞社

AFP／PANA通信社

◀**「ノルマンディー上陸作戦」50周年（6月6日）**第2次世界大戦の連合軍勝利を決定づけた作戦を記念し、仏・ノルマンディーの海岸で式典を挙行。参加希望の独は拒否された。

毎日新聞社

▲**厳戒の株主総会（6月29日）**全国2008社が同時開催。企業テロに備え、約1万人の警察官を動員。写真は東京の鹿島本社。汚職と業績悪化で、社長が陳謝した。

平成6年6月

1（水）●米不足で減少の消費回復せず自由米価格急落。

2（木）●警視庁、暴対SP（企業幹部警護）スタート。

3（金）●建設省、不正行為での営業停止期間延長通達。

4（土）●政府が国際司法裁判所に「核兵器使用は国際法に違反せず」との陳述書準備、と新聞に。

5（日）●韓国政府、外国人労働者の受け入れを五〇〇〇人から二万人に拡大と発表。

6（月）●警察庁、経済四団体に総会屋との絶縁を要請。

7（火）●北朝鮮が日本海向けミサイル試射と韓国報道。

8（水）●東京都、廃棄冷蔵庫の特定フロン回収を開始。

9（木）●米・フォード社、日本向け右ハンドル車を発売。

10（金）●郵政省、この年を「マルチメディア元年」とするCD-ROMも使用の『通信白書』発表。

11（土）●輸血学会、輸血血液製剤のPL法適用に反対。

12（日）●スイス、国民投票で国連PKO参加を否決。

13（月）●訪米中の天皇・皇后、ホワイトハウスを訪問。

14（火）●大手企業の大半が初任給を据え置きと新聞に。

15（水）●北朝鮮の核疑惑などで朝鮮学校生への暴力・いやがらせが激増、と朝鮮総連が抗議声明。

16（木）●沖縄県、米紙に米軍基地縮小求める意見広告。

17（金）●サッカーW杯、米・シカゴで開幕（7月17日、ブラジルが史上初、四度目の優勝）。
●サッカーの三浦知良、伊のセリエA移籍発表。

18（土）●北日本銀行、徳陽・殖産両銀行との合併破棄。

19（日）●福岡県警、奄美大島で漁船を捜索、覚醒剤二六〇億円分を押収し暴力団員ら五人検挙。

20（月）●中井法相、刑法の現代用語化を法制審へ諮問。

21（火）●衆院、佐川急便グループからの一億円借り入れで細川前首相を証人喚問、疑惑を否定。
●ニューヨークの円相場が初の一〇〇円突破、一〇〇円八五銭（27日、東京市場も）。

22（水）●製造物責任（PL）法成立（翌年7月施行）。
●外相、戦前の中国人強制連行を公式に認める。

23（木）●一人の女性が一生に産む子どもの数は一・四六人で、最低記録を更新と厚生省が発表。

24（金）●郵政省、PHSの実用化指針を決定。

25（土）●羽田孜内閣総辞職（30日、村山富市内閣成立）。

26（日）●ゴルフの服部道子、日本女子オープン初制覇。

27（月）●松本市の住宅街で有毒ガス発生、七人死亡（7月3日、サリン検出。松本サリン事件）。

28（火）●行革推進本部、二七九項目の規制緩和策決定。

29（水）●ダイエー、一缶三九円のコーラ発売（大手スーパーなど中心に「価格破壊」本格化）。

30（木）●マラドーナ、ドーピング違反で出場停止。

「現場」を歩く 芝浦

あの「お立ち台」は今いずこ「ジュリアナ東京」の変遷！

山本徹美

平成六年八月三一日、東京・芝浦にあるディスコ「ジュリアナ東京」が「最後の夜」を迎えた。

すでに閉店を決めていた同店では、一週間前の二四日から入場無料サービスを行っており、この日は朝七時から並ぶ若者の姿も。一日の入場者は約六〇〇〇人を数え、過去最高を記録した。

日本初の外資系ディスコとのふれこみで、ジュリアナ東京が開店したのは平成三年五月。英国の総合レジャー企業・ウエンブリー社がノウハウを提供、その大胆な運営方法が話題を呼んだ。

まず、店舗の立地。六本木などディスコの多い繁華街ではなく、人通りの少ない芝浦を選び、貸し倉庫に目をつける。内装・設備に投下した金額はなんと一五億円。こうして総面積一〇〇〇平方メートル、ダンスフロア一六〇平方メートル、天井高八メートル、座席数五〇〇、最大収容人員二〇〇〇人という、わが国最大規模のディスコが出現。これが大ヒットする。

ジュリアナ東京の名物はダンスフロア両側に設置された「お立ち台」だった。高さ一・二メートル、幅一・六メートル、長さ九メートルの鉄骨台上で、「ボディコン」「Tバック」などと呼ばれるセクシーな衣装をまとった女性が扇子を片手に乱舞する。

初年度の入場者は三二万人、翌年は六一万人の勢いだった。が、平成五年に経営母体が変わり「お立ち台」が廃止されたあたりから人気が下落、客足が遠のいて閉店に。

横乗りボードの専門店

ジュリアナ東京のあった貸し倉庫を訪ねてみる。そこには「A.S.R.」の看板がかかっていて、エントランスにはクラシックカーとサーフボードが展示してあった。店内にはスポーツ用品が陳列してあり、軽快なラップミュージックが流れ、日焼け止めクリームの香りが漂う。

同店を経営する㈱ミナミの南卓大社長（三六）が出店の経緯を説明する。

「ジュリアナ東京の後はどうなるのか、そんな好奇心から、若者対象に3S2Dを中心とした店造りにしたらどうか、と発想し、決断しました」

3Sとはサーフボード、スケートボード、スノーボードの頭文字。2Dは、ダンスとディスク（レコード盤）。平成七年四月に開店するが、音響設備やカフェコーナーなどはディスコ当時のままだ。

「オープン当初は、ボディコンの女性などが懐かしんで見物に来ていました。今は専門ショップとして定着し、関東一円からご来店されます」（浅沼元副店長）

同社宣伝部によると、具体的な年商は発表できないものの「予想を上回る売り上げ」だそうである。

かつてこの倉庫の中では、女性に限らず多くのサラリーマンがバブル景気の余波に浮かれた。その熱気も今は消え、店の前では数人の若者がスケートボードで滑走を繰り返していた。

▲「A．S．R．」の店内では、ディスコ同様、ディスク・ジョッキーが音楽を流し、常時ビデオ映像が明滅している。週末には1日平均400人の客が集まり、平成10年10月現在の人気商品はスノーボード。 但馬一憲

港区 浜松町駅 山手線 京浜東北線 A.S.R. 田町駅 横須賀線 首都高速 東京湾 芝浦桟橋

毎日新聞社

▲閉店を前に「お立ち台」が復活。ボディコン、ワンレンの若い女性が群舞する、8月30日夜のジュリアナ。

ベストセラー

最大の不安"死"をテーマに『大往生』がミリオンセラー

バブルが崩壊し、先行きに不安が漂う時代を感じさせる本が、よく読まれた。

永六輔の『大往生』は、最大の不安である死の問題をテーマに、現代医療のあり方を問い、ミリオンセラーになった。病院の医療に具体的な疑問を投げかけつつ、老いや死について、さまざまな人の発言を引用する形で真正面から取り上げた。「医者は病気を治そうとはする。しかし大切なのは、病気を治すことではなく病人を治すことなのだ」「生まれてきたように死んでいきたい」など、含蓄ある言葉が並んだ。平成四年に親友だったいずみたくと中村八大を失った著者が、死を身近な問題として考えるところから生まれたベストセラーだった。

また、福井県の小さな町から一見時代錯誤的な呼びかけが全国に発信された。「日本一短い『母』への手紙」の募集で、これが大反響を呼び、さらにその受賞作品を編集した同名の本がベストセラーになった。「『私、母親似でブス。』娘が笑って言うの。私、同じ事泣いて言ったのに。ごめんねお母さん」「お母さん、もういいよ。病院から、お父さん連れて帰ろう。二人とも死んだら、いや」などの作品が涙を誘った。

一方、バブル経済下におけるカネと人間の関係を描いたマンガ「ナニワ金融道」で人気の青木雄二が監修した、『ナニワ金融道 カネと非情の法律講座』（講談社）もよく売れた。マンガで取り上げた問題を詳述したもので、「債務者の生活すべてを担保にとるのがサラ金業者」「追う者追われる者——犯罪ギリギリのあの手この手」「多重債務の地獄を突破する道」など、きわめて具体的な事例にそって解説されていた

●平成6年のベストセラー

順位	書名（著者 出版社）
1位	「日本をダメにした九人の政治家」（浜田幸一／講談社）
2位	「大往生」（永六輔 岩波書店）
3位	「マディソン郡の橋」（ロバート・J・ウォラー 文藝春秋）
4位	「遺書」（松本人志 朝日新聞社）
5位	「FBI心理分析官」（R·K·レスラー＆T·シャットマン 早川書房）
6位	「ファイナルファンタジーVI（設定資料編·冒険ガイドブック·基礎知識編·完全攻略編）」（スクウェア監修 NTT出版）
7位	「天使の自立（上·下）」（シドニィ·シェルダン／アカデミー出版）
8位	「ガン再発す」（逸見政孝・晴恵 廣済堂出版）
9位	「「超」整理法」（野口悠紀雄 中央公論社）
10位	「日本一短い「母」への手紙」（福井県丸岡町編 大巧社）

全国出版協会出版科学研究所

▲『大往生』（563円）

▲『日本一短い「母」への手紙』（1068円）

▲『ナニワ金融道 カネと非情の法律講座』（1165円）

スターと名場面

深作欣二の鮮やかな演出「忠臣蔵外伝 四谷怪談」

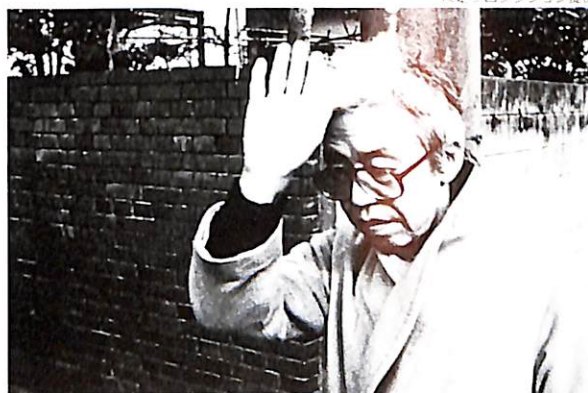
この年公開された原一男監督の「全身小説家」は、作家・井上光晴を追ったドキュメンタリーフィルム。平成元年に初めて癌の手術を受けてから、平成四年六六歳で亡くなるまでを、なまなましい手術のシーンも含めて撮り続けた。しかも闘病記録にとどまらず、井上光晴という作家の生き方を"文学伝習所"の弟子たちの証言によって浮かび上がらせつつ、"ウソで固めた"フィクションの書き手とは何者なのかを、カメラで徹底的に問い詰めていった。記録映画でありながら、映像による作家論でもあった。

また、松竹一〇〇周年記念作品として「忠臣蔵外伝 四谷怪談」（深作欣二監督）が製作・公開された。忠臣蔵も四谷怪談もフィクションのかっこうの題材とされてきたが、この作品はその二つを重ね合わせた幻想的な映像で、元禄という時代を鮮やかに演出してみせた。

若手の阪本順治監督はこの年「トカレフ」を撮った。幼児誘拐を題材にして、言葉少ない映像を積み重ねながら、事件の背景や犯人の心境などは見る側の想像力にゆだねるという、これまでにない不思議な虚構世界を作った。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。

「ピアノ・レッスン」（ホリー・ハンター）「シンドラーのリスト」（リーアム・ニーソン）

疾走プロダクション提供

▲「全身小説家」で、癌と闘う姿を含めて、みずからをカメラの前にさらし続けた作家・井上光晴。

松竹提供

▶「忠臣蔵外伝 四谷怪談」で好演した伊右衛門役の佐藤浩市（右）と、新しいお岩像を作った高岡早紀（左）。

▼「トカレフ」で犯人を追いつめる役を熱演した大和武士（左）と、わが子を失った母親役の西山由海（右）。

モノ語り'94

既成の市場を揺るがせた大ヒット続出！「プレイステーション」「クリーンPENTEL」「バーゲンブロー」

◀**清潔志向が文具にまで**　この頃、いろいろな分野で抗菌グッズが開発されていたが、この年の8月、ぺんてるから「クリーンＰＥＮＴＥＬ」シリーズが発売され、ついに文具にまでおよんだ。同じ筆記具を不特定多数の人が使う銀行や病院などでの使用を目的として開発されたが、清潔志向のブームに乗って大ヒット、初年度の販売目標を1200万本から3200万本に上方修正するほどだった。価格はシャープペンシルが150円、ボールペンが100円だった。

◀**ビールの価格破壊が始まった**　1缶128円という超破格の缶ビールが、前年末にダイエーから発売され、平成6年早々からビール市場を揺るがせた。生産量が多く価格も安いベルギーからの直輸入ビール「バーゲンブロー」で、年間7万ケースの当初販売目標を、200万ケースに修正するほどの勢いを見せた。

▲**大画面テレビの決定版登場**　この年5月に松下電器産業から発売された「ワイド画王『ヨコヅナ』」は、32型のワイド画面、高画質、高機能で好評。発売後約半年で20万台以上売れた。独自の機能としては、最適なコントラストを自動的に実現するワイドデジタルＡＩ機能や、ワンタッチ操作でワイド画面にズームできるセルフワイド機能などがあった。価格は31万8000円。

▲**育てる玩具に大人も夢中**　この年タカラから発売された「シバカリくん」は、人形の頭から芝生が毛のように生えてくるという玩具で、おとなにも大受け、発売4ヵ月で150万個という売れ行きを記録した。芝生の種が埋めこまれたおが屑がストッキングに包まれていて、水をやって日光にあてておくと坊主頭から芝生が生えてくるという、愛嬌たっぷりの「園芸人形」だった。価格が980円と手頃なのも、ヒットの要因となった。

▼**カーナビ市場が拡大**　この年、自動車の現在位置を知らせるカーナビゲーションの普及版「デジタルマップ　ナビシステム　ＮＶＸ―Ｆ1」が、ソニーから発売された。地図上に100ヵ所までポイントを設定し記憶させられるなどの高機能で、しかも1台15万8000円とぐんと安くなったため、発売後8ヵ月で13万台という売り上げを記録、カーナビ市場拡大のきっかけを作った。

▼**預金に懸賞金がついてくる**　この頃、金融機関は顧客確保のため競って各種サービスを開発していたが、この年の11月に城南信用金庫から発売された「スーパードリーム」は、最高5万円の賞金が当たるという懸賞つき定期預金で、他行のど肝を抜いた。発売翌月の14日には残高が1008億円にまで膨れあがる人気商品となり、他行もこれに追随することとなった。写真は抽選番号つきの定期預金証書（見本）。

城南夢付き定期預金証書
（スーパードリーム）
見本
お預り金額 1.000.000円
城南信用金庫

▶**テレビゲームの新時代到来**　この年の12月3日、ソニー・コンピュータエンタテインメントから32ビットゲーム機「プレイステーション」が発売され、ゲーム市場が新たな局面に入った。3次元表現はもちろん、多数のキャラクターを同時に高速で動かせるなどの高性能が話題を呼んで、発売直後から売り切れ店が出てしまうほどの人気商品となった。ソフトも豊富なラインナップで、中心価格帯も5800円と手頃だった。本体価格は、税別で3万9800円。

▶この年六月七日、名人位獲得直後に思わず笑みをもらす羽生善治。その夜の宴席では、前名人・米長が音頭をとり、立会の原田泰夫九段、佐藤康光竜王らと万歳を三唱、羽生も唱和したという。

人物クローズアップ

羽生善治(二四)

最終第六局の終盤は修羅場に 前人未到の将棋六冠王達成!

山形県天童市の「滝の湯ホテル」で行われていた第七期竜王戦七番勝負の第六局は、平成六年一二月九日、挑戦者の羽生善治名人(二四)が一二一手までで佐藤康光竜王を破り、四勝二敗で前年奪われたタイトルを奪回した。これによって羽生は、「名人」「棋聖」「王位」「王座」「棋王」にこの「竜王」を加えて史上初の将棋六冠王となり、残るタイトルは「王将」ただひとつだけとなった。

それまでは、タイトル五冠時代の故・大山康晴一五世名人と、六冠時代の中原誠永世十段の二人が達成した五冠が最高。戦後の将棋界を代表するこの二人の記録を、羽生はあっさりと打ち破ってしまったのである。

羽生が三勝二敗で迎えたこの日の第六局は、すさまじい戦いになった。佐藤と羽生は奨励会(棋士養成機関)の同期で、いつもは仲がいい。その二人の対戦は、終盤に入ると修羅場になった。最後の最後まで勝敗の行方がわからない。

勝敗が決したのは午後七時七分、佐藤が深々と頭をさげ、投了を告げると、羽生も深く礼を返し、対局は終わった。

「終盤だけで一局に相当するすごい対局。ゼロコンマ以下の微妙な差でした」とは、立会人の石田和雄九段の話である。

そして羽生はこの一年二ヵ月後の平成八年二月一四日、谷川浩司王将から王将位を奪い、前人未到の七冠を達成。全タイトルを手中にするのである。

羽生善治は、昭和四五年九月二七日、埼玉県所沢生まれ。幼稚園に入る頃、所沢から東京都八王子市に引っ越し、五二年に市立恩方第一小学校に入学した。羽生が将棋をおぼえたのは一年生の時で、友達から駒の動かし方を教えてもらった。両親は将棋にはまったく縁がなく、羽生はその時から将棋に夢中になった。入門書を買ってきて、一人で勉強するようになり、それを見ていた母のハツが、二年生の夏、羽生を八王子将棋クラブへ連れて行く。これが、羽生と将棋の本格的な出会いになった。

才能の開花は早かった。その後、羽生は小学生の将棋大会を荒らしまわり、六年生の時には、第七回小学生名人戦で優勝する。決勝の相手は、現在の森内俊之八段である。

この年、羽生はプロ入りを決意し、日本将棋連盟の奨励会に入会、二上達也九段に入門した。

将棋界でプロ棋士と認められるのは四段から。羽生が四段に昇段したのは、昭和六〇年一二月のことだった。奨励会に入会してちょうど三年という史上最短記録を作った羽生は、この時、中学三年生。加藤一二三、谷川浩司に続く、将棋界三人目の中学生プロ棋士の誕生だった。

以降、天才の名をほしいままにした羽生の活躍には、史上初、史上最年少、快挙といった言葉が、枕詞のようについてまわる。

平成六年に史上初の六冠王となり九段に昇段した羽生は、その時のことをこう話す。

「タイトル数が同じであったら、大山先生も中原先生も六冠王になられていたと思いますが、いずれにしろうれしかったのは確かです。七冠王は体力があるうちにということで、まあ、三〇代の目標ではありましたが、いろいろな運が重なったということもあります」

羽生はあくまでもクールで、控え目である。

現在の羽生の肩書は、「王将」「王位」「棋王」「王座」。それに「永世棋王」「永世王位」「永世棋聖」「名誉王座」の資格を持つ。

▼昭和56年1月、新宿の小田急デパートで行われた「小田急将棋まつり」の小学生大会で、当時小学校4年生の羽生は、記念すべき初優勝をはたす。

八王子将棋クラブ提供

決定的瞬間

ブラジルは喪に服した！
“天才”アイルトン・セナ 時速三〇〇キロで激突死

一九九四年五月一日、イタリアのイモラ・サーキット。コースには色とりどりのF1マシンが並び、すがすがしい日差しに輝いている。この年F1GP（フォーミュラーワン・グランプリ）第三戦目、サンマリノGP決勝レースのスタートを前に、サーキットは独特のかん高いエンジン音と歓声に包まれていた。

観衆が最も注目していたのは、ポールポジションのマシン、コックピットにアイルトン・セナ（三四）を乗せたウィリアムズ・ルノーFW16である。

開幕戦のブラジルGP、第二戦のパシフィックGPと、セナはポールポジションを獲得しながら、いずれもリタイアを余儀なくされていた。

そして迎えたサンマリノGP。セナは二日前（四月二九日）に行われた予選で、一分二一秒五四八のコースレコードを樹立し、開幕以来三戦連続のポールポジションを射とめた。ここイモラで過去二戦の無念を晴らすはずだ。誰もがそうしたエキサイティングな結末を期待した。

しかし、まさかの大事故が七周目の超高速コーナーで起こった。

トップを走るセナのマシンが、カーブを曲がり切れず、時速約三〇〇キロのトップスピードのまま、コースアウトし側壁に激突したのである。

このサンマリノGPは、まるでセナの事故の前触れのように、予選から波乱含みの展開だった。前日の公式予選最終日には、オーストリアのラッツェンベルガーが激突死。そして決勝レースでは、チェッカーフラッグが振られた後、レート（ベネトン）のマシンがエンジントラブルに見舞われ、スタートできずにいた。そのマシンにラミー（ロータス）が追突、そのままコースをはずれ壁に激突するという事故も発生した。このため、スタートからセーフティカーが先頭に立って六周目までマシンを誘導した。

そして七周目。セーフティカーのコース離脱を合図に、トップを走るセナのマシンは、〇秒六八二差で二番手を走るミヒャエル・シューマッハー（ベネトン）との熾烈なマッチレースを開始した。

その直後、タンブレロ・コーナーにさしかかったセナのマシンが、トップスピードのまま右側面から壁に激突したのだ。マシンは、フロントから右側がえぐり取られるような形で大破した。コースの老朽化、マシンの異常が取り沙汰されたが、事故原因は特定されていない。

一五分後、係員によってコックピットからかつぎ出されたセナは、駆けつけた医者によって応急措置がほどこされた後、ヘリコプターでただちにボローニャ市内にあるマジョーレ病院に運ばれた。

助け出された時、セナはすでに意識不明、出血多量の状態にあった。病院での輸血は、四五〇〇ccにもおよんだという。頭蓋骨には数ヵ所の骨折があり、脳神経系の損傷もひどく、手術もままならなかった。そして、事故から四時間後の午後六時三分（日本時間二日午前一時三分）、意識を回復しないまま脳死が確認され、同四〇分に心臓が停止した。

本名、アイルトン・セナ・ダ・シルバ。一九六〇年三月二一日、ブラジル・サンパウロに生まれたセナは、八四年の地元ブラジルGPで、念願のF1デビューをはたす。そして翌八五年、二五歳のセナはポルトガルGPでF1初勝利をあげた。以来、F1通算四一勝。四二勝目をかけた九四年のサンマリノGPは通算一六一戦目であった。八八、九〇、九一年とマクラーレン・ホンダでワールドチャンピオンに輝き、日本のファンにも、天才ドライバーの鮮烈な走りを印象づけた。

悲報を伝えられた母国・ブラジルのフランコ大統領は、「半旗を掲げ、公式行事はすべて中止する」と国民に三日間の服喪をうながした。

悲しみに包まれる中、セナの遺体は四日午前五時五〇分着の飛行機で、故郷・サンパウロに運ばれた。そして、この日午前一一時からサンパウロ州議事堂で始まった二四時間葬では、セナに別れを告げる涙の列が、延々五キロも続いた。翌五日、市内の学校は臨時休校となり、この日予定されていた国家警察のストライキも緊急解除が決定された。ブラジル国内では外出する国民のほとんどが黒い服を着用し、多くの家の窓辺に喪章を巻いた半旗が掲げられ、道路を走る多くの車のアンテナにも黒いリボンがつけられていたという。

▶コース脇の壁面に激突し、前輪がはずれたセナのマシンに、レース・オフィシャルが駆けつける。ブラジルの国民的英雄の死は、全世界に衝撃を与えた。

AP／WWP

◀セナは、デビュー以来常にトップを競い、優勝回数は当時現役最多、歴代二位の記録を残している。

AFP／PANA通信社

美の出会い

「門外不出」の名品ズラリ！観客一〇七万人が殺到した幻のバーンズ・コレクション

◀ポール・セザンヌ「赤いチョッキの少年」。1888〜90年。油彩、65.7×54.7センチ。同じ少年をモデルにした作品は複数あるが、バーンズ所蔵のものが最も情緒性から遠く、静物を描くような厳しい造形となっている。

平成六年一月二二日から四月三日まで、東京・上野の国立西洋美術館で、「バーンズ・コレクション展」が開催された。前年からマスコミでは、「印象派の宝庫」「門外不出の幻のコレクション初公開」「最後の公開」などと報じられ、注目をあびてきた展覧会である。

六二日間の入場者総数は、一〇七万一三五二人。昭和三九年に同館で開かれた「ミロのビーナス特別公開展」の入場者八三万人を、はるかに上回る大記録となった。二月、三月と会期が進むにつれ、入場を待つ列は次第に長くなり、上野公園まで伸びた数百㍍の人垣は、同展終了の日まで続いた。入場するまでの待ち時間の最長は、七時間におよんだという。成城大学大学院美学美術史科に入学が決まった榎本紀子さんは、この行列に並び、やっとのことで入場した一人である。その時のことを、今でもよくおぼえているという。

「美術館から隣の科学博物館を通り越して、噴水のある広場まで、長い列がうねうねと続いていました。それでも私にとっては、数少ないスーラの作品を見られただけでも大きな収穫でした。バーンズさんの筋の通ったコレクションも、面白く楽しめました」

米国・ペンシルベニア州メリオンにあるバーンズ財団美術館は、限定的に公開されていたものの、アルバート・クームズ・バーンズ（一八七二〜一九五一）の遺言により、作品は門外不出とされていた。今回の公開は、美術館の老朽化により改装を迫られ、資金調達も必要としたため、裁判所に遺言の一時停止を申請し、ワシントンのナショナル・ギャラリー、パリのオルセー美術館、日本の国立西洋美術館の三ヵ所で、初めて巡回公開されることになったのである。ただし一年限定の遺言停止で、改装が終了すれば、再び外に出ることはないと言われていた。

出品作品は、コレクションの中でも傑作と言われる八〇点が選ばれた。ピエール・オーギュスト・ルノワールの「コンセルヴァトワールの出口」ほか一六点、ポール・セザンヌの「大水浴」ほか二〇点、アンリ・マチスの「生きる喜び」ほか一四点などをはじめ、ジョルジュ・スーラの「ポーズする女たち」、アンリ・ルソーの「熱帯の森を散歩する女」、アメデオ・モディリアーニの「うつぶせに横たわる裸婦」など、珠玉の名品が並んだのだった。

国立西洋美術館と共同主催した読売新聞社は、一月一日の紙面に五㌻の「バーンズ・コレクション展特集」を載せた。画家の池田満寿夫、京都服飾文化研究財団のチーフ・キュレーター・深井晃子、国立西洋美術館館長の高階秀爾の三人による座談会が行われ、その席で高階は、「今はどれを目玉にしていいかわからない、という贅沢な悩みを持っています」

▲ジョルジュ・スーラ「ポーズする女たち」。1886〜88年。油彩、200×248センチ。「すべてが目玉」と言われた展覧会出品作の中でも、とりわけ注目された作品。31歳で没したスーラは、もともと作品の数が少なかった。

◀バーンズは、著名な学者、批評家でも見学の申し込みを拒否した。

▲バーンズ財団美術館内部の展示風景。一見、雑多に陳列しているように見えるが、この配列は、バーンズの作品に対する深い理解をもとになされている。

と語っている。池田はアメリカ滞在中、財団に見学を申し込んでから、三ヵ月待たされて、ようやく許可されたという。そして深井は、すでにオルセー美術館に駆けつけて、十分堪能してきたといった具合に、三者がともに熱弁を振るっている。また、前年の一一月、講談社から『印象派の宝庫バーンズ・コレクション』が刊行され、いち早く展覧会の内容を知ることができた。こうした事前の情報が、美術ファンの間に浸透し、大動員につながっていったのであろう。

医学者のアルバート・C・バーンズは、ドイツ人化学者、ヘルマン・ヒルと協力して眼の炎症をおさえる薬を開発。これがあたって、莫大な利益を獲得した。もともと絵画に関心があったバーンズは、高校時代からの友人で画家のウィリアム・グラッケンズに頼んで、パリで近代絵画を購入してもらった。

その中にはセザンヌの「サント＝ヴィクトワール山」、ゴッホの「郵便配達夫ルーラン」などが含まれていた。このコレクションを手始めに、今度はみずからヨーロッパに出かけ、自分の眼で作品を選び、買い入れるようになった。パリの画商や画家たち、批評家たちが辟易するほど議論を重ねたうえで購入の決断をしてきたという。

こうして集められた二〇〇〇点以上におよぶコレクションの中には、ルノワールがおよそ一八〇点、セザンヌが七〇点ほどもある。これだけでも驚異だが、印象派からエコール・ド・パリまでの最も華やかな時代の作品の数々は、今や近代美術史上、欠かせない貴重なコレクションとなっている。

20世紀博物館

岩崎ミュージアム 神奈川・横浜

服飾史の資料を展示、地下には小劇場を併設したハイブリッド空間

桑原茂夫

◀時代順にずらりと並んだシルエット。より美しい装いを求め続けた思いとともに、「歴史は繰り返す」こともビジュアルで実感させてくれる。

岩崎ミュージアム提供（3点とも）

横浜の高台、通称「港の見える丘公園」のすぐ近くに、二階建ての瀟洒な煉瓦造りの建物がある。そこが「岩崎ミュージアム」であり「山手ゲーテ座」である。二つの名称が並記されていてややこしいが、そこには興味深い歴史的事実が隠されていた。

そもそもは、服飾の専門学校「岩崎学園横浜洋裁学院」が創立五〇周年を記念し、昭和五〇年代に企画したミュージアムで、服飾史の資料展示がその構想の中心にあった。ところがその建設予定地から、思いがけないものが発見された。明治時代に外国人向けの小劇場として人気のあった、「ゲーテ座」の遺物である。関東大震災によって瓦礫と化した「ゲーテ座」は、この場所に建っていたのである。

「ゲーテ座」といっても、文豪・ゲーテとは関係ない。〝愉快、陽気〟を意味する〝ゲイアティ〟という英語がなまって〝ゲーテ〟と称された、明るく陽気な小劇場空間だったのである。その当時、新しい演劇を興そうとしていた坪内逍遙や小山内薫らもよくここを訪れていた。谷崎潤一郎も小説に書き記すなど、日本の若き芸術家たちが西欧のステージに直接触れて楽しむ場所でもあった。

そんな由緒ある建物の跡地というわけで、岩崎学園のミュージアム構想も根本から練り直された。そして、建物は「ゲーテ座」を模したものとなり、内部には、服飾史の資料展示に加えて、なんと小劇場も設けられることになったのである。

今、建物の地下にこの小劇場はあり、一〇〇たらずの客席を持つ「山手ゲーテ座」として、小さなコンサートや演劇などの公演で市民に親しまれている。

そして一階にエントランスホール、二階に服飾史や「ゲーテ座」の資料展示コーナーがあるのだが、かつて「ゲーテ座」が人々のつどう空間であったことを受けて、市民のための「ギャラリー」も同じフロアに設けられ、「博物館」には珍しい市民参加のコーナーとなっている。

さて服飾史のコーナーだが、ここでは古代エジプトから現代までの婦人服のシルエットを、二分の一縮尺の人形で見せている。二分の一縮尺だから、全体を俯瞰しやすく、したがってシルエットが時の流れとともに変わっていくのを容易に見て取れる。エジプトやギリシャのゆったりとしたシルエットや、中世のいかにも禁欲的なシルエット、日本では鹿鳴館時代の衣装として知られるヒップを持ち上げるようにした〝バッスル・スタイル〟のシルエット、一九二〇年代のモガの間で流行した〝ローリング〟など、時代のファッションを代表するシルエットが、小規模ながらずらりと並んでいて、ことさら服飾史とかまえなくても、十分楽しめる。

どこか舞台衣装の展示のようでもあり、「ゲーテ座」が蘇ったミュージアムにふさわしい雰囲気を醸し出している。

▼このミュージアムには、エミール・ガレやドームに代表されるアール・ヌーヴォーのガラス工芸品も展示されている。写真はドームの花瓶。

▲壁には、前世紀に描かれた「ファッション・プレート」がかけられている。当時は貴重なファッション情報源であり、現在では重要な歴史資料でもある。

▲「ゲーテ座」を模した外観。横浜の港が見える高台にあって、散策には絶好の場所。入館者も多く、市民にとっても親しみやすいミュージアムとなっている。

●岩崎ミュージアム
横浜市中区山手町二五四
☎〇四五―六二三―二一一一
JR石川町駅下車、徒歩二〇分
開館時間＝九時四〇分～一八時
休館日＝月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、館の特定日
入館料＝一般三〇〇円

前年は「作況指数七四」と戦後最悪の大凶作
米不足に便乗して自由化をもくろむ
平成「米騒動」の仕組まれたプロセス

▲店頭から米が消えて、販売日には長蛇の行列。3月16日、東京都江戸川区で撮影。 読売新聞社

平成六年三月初頭、スーパーや米屋の店頭から米が消えた。直接の原因は「作況指数七四」という前年の大凶作によるものだが、外国産米の供給遅れや闇業者の買い占めなど、いくつかの要素がからみ合っていた。消費者は早朝から長い行列を作り、わずかな量の国産米に殺到する「平成の米狂騒曲」が演じられた。

一人一袋に制限しても開店後五分で売り切れ

「毎日少しずつしか売らないなんて、売りおしみしてるんでしょッ」

「国産米が入荷しないんですよ。入った分は全部お出ししています」

平成六年二月末から三月上旬にかけて、日本各地のスーパーで、主婦と店員のこんなやり取りが繰り広げられた。「行列しても国産米が手に入らない」と、主婦たちの怒りが爆発したのだった。

三月三日、「毎日新聞」は、千葉県浦安市の米の安売りスーパー・木田屋今川店での騒動を掲載している。

「(三月) 二日、混乱を避けるために初めて〝一人一袋〟の整理券を配った。一六〇枚を用意したが、午前九時の開店か

ら五分でなくなった。（略）三日に残り一〇〇袋を整理券で売ると、次に店頭にコメが並ぶ見通しが立たないという」

町の米屋の米不足は、もっと深刻だった。ほとんどの店がシャッターを閉めたり、店の中が見えないようにガラス戸に目張りして居留守を使ったりした。そうでもしなければ、得意客でもない客が「米を売れ！」と押しかけてくる。また、「米を隠しているんじゃないか」と言いがかりをつける客も少なくなかった。

店頭から米が消えた直接の原因は、外国産米の本格販売を前に消費者が国産米の買い占めに走ったのと、米国・中国産米の船積みや検疫が遅れたことであった。また、マスコミが「外国産米にカビ、異臭、ネズミやゴキブリの死骸混入」などとセンセーショナルに報じ、消費者の不安をあおったことも無関係ではなかった。

こうなると、ひと儲けをたくらむ輩が横行する。東京・多摩地区のある米屋は「米はますます不足し、ますます値上がりしますから、お早目にお買いください」という看板を出した。この米屋の便乗商法を、近所の別の米屋が「現代」（平成六年五月号）で暴露している。

「新潟コシヒカリと称した米を、（一〇キロ）一万七〇〇〇円で売ってましたよ。本当は新潟産どころか、コシヒカリ一〇〇％かどうかもあやしい米なんだけど、お客さんは見分けがつかないから、飛びついてしまう」

客の弱みにつけこんだ便乗商法はこれだけではなかった。闇米業者の暗躍である。買い占めた米を倉庫に保管し、高値で手離すという「米転がし」で、数億円単位の儲けを出した業者もいた。

「ヤミ米転がし、高笑い／『秋に一俵一〇万円、いまは倍』／倉庫に山積み一〇〇〇袋」（『毎日新聞』三月一九日夕刊）↖

▲大阪のスーパーの店頭で、カリフォルニア産米を試験販売。国産米の2～4割安とあって、1トンがたちまち売り切れた。 読売新聞社

◀一一月四日、一一道県のコメ・キャンペーンガールが、東京ドーム前の広場に集合。 朝日新聞社

◀大阪・泉州地区周辺から集められた残飯。米不足という異常事態でも量は減らず、回収業者も首をかしげていた。 朝日新聞社

おかげで、国産米は高騰する。新潟産コシヒカリの自由米（闇米）市場は、三月一七日には六〇キロ当たり六万二〇〇〇円の最高値を記録した。これによって、末端価格もうなぎ昇り。前年暮れに一〇キロ九〇〇〇円だったものが、三月一七日には二万一〇〇〇円にまで跳ね上がった。警視庁によると、倉庫などを襲う大がかりな米泥棒もふえ、一、二月だけで前年比三六件増の九九件に達した。

泥縄式対応が続いた食糧庁の米不足対策

「凶作から大量輸入へ、そして自由化へという事態を振り返ってみると、〝仕組まれたプロセス〟が見えてくる。旧竹下派を中心とする自民党は、米が二五〇万トン不足するという心理戦を展開しながら、支持基盤である農民に向けて〝絶対に自由化はしない〟と言い続ける一方、自分たちでは手が下せない〝自由化〟を細川首相にやらせることに成功した」

横浜国立大学経済学部の田代洋一教授（総合農政）は、「米の輸入自由化」に向けた一連の政治状況をこう指摘する。

前年、平成五年の米の作況指数は、八月に九五の「やや不良」、九月に八〇の「著しい不良」、そして最終的には七四の「著しい不良」だった。特に北海道・東北の痛手は大きかった。北海道四〇、青森二八、岩手三〇、宮城三七、秋田八三、山形七九、福島六一と、いずれも戦後最悪の作況指数が並ぶ。

したがって、平成五年八月時点から翌年の米がたりなくなるのは明白だった。しかも、備蓄米はほとんどゼロ。食糧庁はすぐに米確保に動くべきだったが、悠長にかまえて動きは鈍かった。やっと一一月一五日に九〇万トン、一二月末に八〇万トンの輸入を発表し、各国との交渉を始めた。

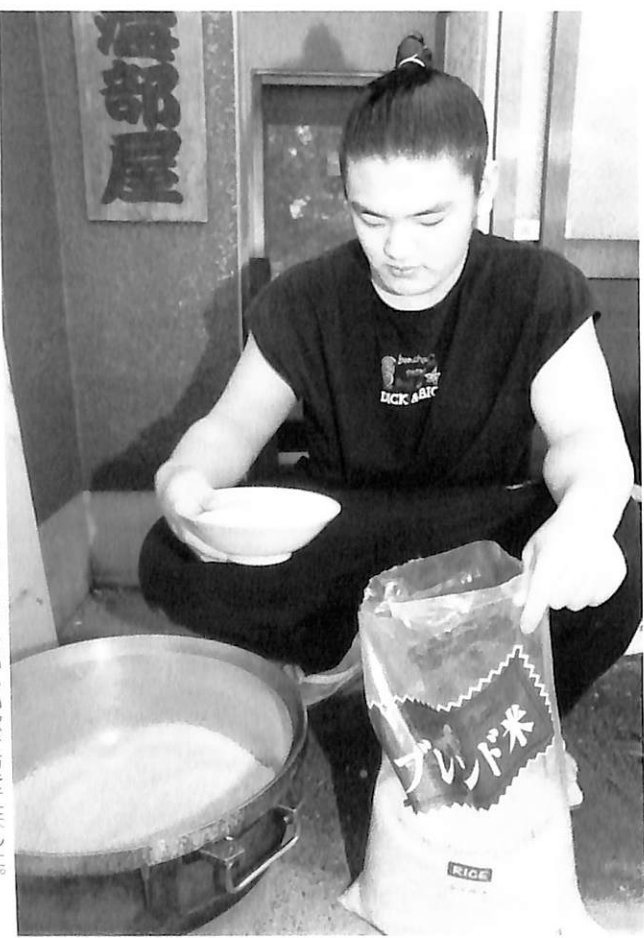
ところが、その後も食糧庁の泥縄式対応は続く。平成六年二月になれば順調に入ってくるはずの外国産米がなかなか入ってこない。入ってきても、検疫に予想以上の日数がかかった。そこで、食糧庁は外国産米と国産米のブレンドの割合を七対三から五対五に変えたが、それでも当面の需要にこたえられず、ついに三月には冒頭にも紹介したような「平成の米騒動」が勃発したのである。

こうした食糧庁の迷走は、「米の輸入自由化」に向けた政治プロセスを色濃く反映させたものだった。迷走の跡をたどると、米の緊急輸入を突破口に、輸入自由化を実体化してしまおうとのもくろみがかいま見える。平成五年一二月一四日、細川護熙首相はガットのウルグアイラウンドでの「米の部分開放」を認めた。

米問題に精力的に取り組み、『農が壊れる』（講談社）を書いたノンフィクション作家の橋本克彦氏は、

「一〇〇年に一度の異常気象だったが、それにしても農家の足腰の弱さを露呈する作況だった。寒い地方でも高値のつくブランド米を作付けしたこと、兼業農家が土作りをおこたっていたことなどのツケがまわってきた。そこへ減反政策による備蓄米の不足が重なり、外国産米の輸入という対策がとられたが、冷害発生以降の政府の動きには、米の輸入自由化に向けた作為があった」

と言う。

農業の現場が病んでいる以上、天候異変による凶作に襲われた場合、自給する能力を求めるのはもはや無理なのかもしれない。皮肉なことに、この年の秋、米の作柄は戦後五番目の大豊作となった。

▶大相撲の伊勢ノ海部屋でもブレンド米を購入。チャンコ番の力士が、おいしい炊き方を工夫した。 共同通信社

7~8月

フォト＋日録で再現する365日

ユニフォト・プレス

▼**北朝鮮亡命者が衝撃発言(7月27日)**北朝鮮首相・姜成山の娘婿(35、左)と金日成総合大教授(35)が、ソウルで会見。「核爆弾を5個保有」と証言、北朝鮮の核疑惑の中、波紋を投じた。

▲**ブラジル、復活のV4(7月17日)**ロサンゼルスのサッカーW杯米国大会決勝で、イタリアを0対0の延長のすえ、PK戦で降し史上初、4度目の優勝。24年ぶりの返り咲きだった。

共同通信社

▶**シンプソン事件、話題沸騰(7月21日)**白人の前妻らの殺害容疑でこの日、起訴された元アメフトのスター(46)が「時の人」。翌年、陪審で無罪となった。

◀**京都ホテル、新装(7月10日)**景観論争でもめた工事が完了。平安建都1200年にして初めて、地上16階・60メートル余の高層ビルが、京都に誕生した。

共同通信社

共同通信社

ロイター／サンテレフォト

▶**「気象予報士」第1回試験(8月28日)**合格すれば、気象庁データを使って天気予報が出せるとあって、500人募集に2777人が応募。中には、著名な「ウエザーキャスター」の姿もあった。

◀**バレル、世界新(7月6日)**スイスの陸上GPシリーズ、ローザンヌ大会の100メートル決勝で、ルイスの記録を100分の1秒上回る9秒85を達成。1991年以来、2度目の新記録保持者となった。

共同通信社

平成6年7月

1(金)●アラファトPLO議長、二六年ぶりガザ入り。
2(土)●日本数学会など四学会、子どもの理数離れは授業時間の絶対的不足からと増設要望を決議。
3(日)●東洋大で全国初の一〇月入学の入試始まる。
4(月)●日本にも欧州並みの強い酸性雨と環境庁。
5(火)●法務省、父母不明の無国籍児に日本国籍容認。
6(水)●米国のバレル、一〇〇㍍で九秒八五の世界新。
7(木)●米誌の製造業売上高世界番付にトヨタ、日立、松下の三社が円高重なりベストテン入り。
8(金)●北朝鮮の金日成主席、死去。八二歳。
●日本人女性初の宇宙飛行士・向井千秋が、「スペースシャトル」で宇宙へ(23日、帰還)。
9(土)●高島屋、台北郊外に合弁百貨店を開店。
10(日)●京都ホテルの建て替え工事が完成し開業。
11(月)●大阪地裁、水俣病関西訴訟で国と熊本県の責任を否定。チッソだけに賠償命令。
12(火)●文部省、W杯サッカーの招致支援を正式表明(17日、韓国も立候補を正式表明)。
13(水)●都議会で議員資産公開条例成立、都道府県初。
14(木)●宮内庁の記者会見が、一部報道自由に。
15(金)●最高裁、昭和五一年に九七人が死傷した北海道庁爆破事件で、大森勝久被告に死刑判決。
16(土)●青森市の三内丸山遺跡から巨大木柱や大量の土器が出土(国内最大級の縄文遺跡と判明)。
17(日)●第九彗星(SL9)が木星に衝突(~22日)。
18(月)●皇后、「発語の困難」は克服と宮内庁が発表。
●経歴詐称の新間正次参院議員の有罪確定。
19(火)●萱野茂、繰り上げ当選、初のアイヌ民族議員に。
20(水)●村山首相が自衛隊合憲を言明(9月3日社会党大会「日の丸、君が代」含む政策転換を承認)。
21(木)●大阪市場の超早場米が前年比一七㌫高で落札。
22(金)●関東一都五県が水不足で、利根川の一〇㌫取水制限実施(8月15日、三〇㌫に強化)。
23(土)●西武百貨店、神戸からの撤退を発表。
24(日)●新潟で中央競馬最高配当の二七万一二三〇円。
25(月)●イスラエルとヨルダン、戦争状態終結を宣言。
26(火)●政府、翌年初めの公共料金値上げを決める。
27(水)●横浜事件で故人の妻が二度目の再審を請求。
28(木)●国連総会、「海洋法条約」採択(11月16日発効)。
29(金)●都清掃審、ゴミ回収の全面有料化を答申。
30(土)●松本サリン事件の第一通報者・河野義行さん退院、記者会見で関与を否定、過熱報道に抗議。
31(日)●一ヵ月二〇〇万円以上の高額医療費件数増加し、二万二六二一件、と健保組合連が発表。

証言・あの日この日

秦　恒平(58)

共同通信社

7月5日(火)　〈大学への最寄りの駅で、社会学の教授といっしょになった。キャンパスを歩きながら尋ねてみた。「頭脳」と「心臓」というふたつの言葉の、どっちか一方に、「こころ」とかなをふるとしましてね。うちの学校の学生たちは、どれくらいの比率で、どっちの言葉を、より多く「こころ」と訓むと思いますか〉(秦恒平『東工大「作家」教授の幸福』)

東工大教授になった作家・秦恒平は、ちょうどこの頃、「脳死」を人間の死とみなし、臓器移植を推進しようとする臓器移植法案が話題になっていたこともあって、理工系の学生を相手に「こころ」は、「頭脳」にあるか「心臓」にあるか、という問題を出してみた。社会学教授と秦教授の予想は「七・三で頭脳」だった。だが結果は、予想に反し「心臓」派が多かった。　(山崎行太郎)

讀売新聞社

▲**日本列島、大渇水(8月)**近畿の水甕・琵琶湖は、水位がマイナス123センチに達し、名勝・浮御堂の足元が露出(写真)。西日本は長期間、節水・断水に悩まされた。

▼**ルワンダに大量難民(8月3日)**フツ族との内戦に勝利したツチ族が前月、融和政権を樹立。しかしこの間、死者50万人を超す大虐殺が続き、200万人が故国を脱出した。写真は、ザイールでの難民。

AP／WWP

共同通信社

▲**現金輸送車の5億410 0万円強奪(8月5日)**輸送車が神戸・三宮の福徳銀行に到着直後、短銃を持つ二人組が襲撃。ワゴン車で逃走した。現金強奪事件では過去最高額。

ロイター／サンテレフォト

▲**「日本人パパ」助けて(8月24日)**日本人男性に捨てられた母子が、マニラ訪問中の村山首相に窮状を直訴。父なし日比混血児は、6万人と言われた。

▶**米大リーグ選手会がスト突入(8月12日)**経営側が報酬総額の制限をはかったため、大リーグ中止の事態に。写真は、ストまで「あと1」と記した電光板。

ロイター／サンテレフォト

平成6年8月

1(月)●独大統領、ワルシャワを訪問しナチス・ドイツの残虐行為を正式謝罪。
2(火)●文部省調査で一ヵ月読書しない中高生が四割。
3(水)●東京で観測史上最高の三九・一度(8日、京都・大阪・神戸で最高気温など各地で猛暑)。
4(木)●福岡市、六時間断水実施。西日本の水不足深刻。
5(金)●福徳銀神戸支店で五億四一〇〇万円強奪事件。
6(土)●女子バレー、日立の九選手プロ化求め辞表提出と判明(12月大林素子ら、伊でプロ契約)。
7(日)●アジア初の国際エイズ会議が横浜で開催。
8(月)●ファミリーレストランの最大手・すかいらーく社長、「使命は終わった」と業態転換を表明。
9(火)●輸入米の初入札で不人気のタイ産米が不成立。
10(水)●大阪高裁、高校生のダイヤルQ²料金支払請求裁判で、ダイヤルQ²は違法の疑いと初の判断。
11(木)●七月のビール出荷量最高の七二一八万ケース。
12(金)●米大リーグ選手会、無期限ストに突入。
13(土)●総理府の世論調査で景気・外交・食糧など「日本は悪い方向に向かっている」が初の過半数。
14(日)●仏内務省、テロリストの「カルロス」を逮捕。
15(月)●小田実、色川大吉らの「日本はこれでいいのか！市民連合」、マンネリ化と一五年目で解散。
16(火)●独、核物質の密輸を相次ぎ摘発(22日、独口間で密輸防止の覚書に調印)。
17(水)●女子中学生の二七㌫がテレクラ、一六㌫が万引きを体験とPTA全国協の調べで判明。
18(木)●政府、元従軍慰安婦救済で民間基金構想発表。
19(金)●東京都、小河内ダム周辺で七年ぶりに人工降雨装置作動、四一㍉の降雨。
20(土)●水産庁初の調査でカブトガニ、マリモなど日本の水棲生物一六種が絶滅の危機と判明。
21(日)●関東に豪雨。千葉・埼玉県は給水制限解除(西日本は晴天続き、節水・断水を拡大強化)。
22(月)●米国産リンゴの輸入が解禁される。
23(火)●電力・ガス各社、円高差益還元の値下げ申請。
24(水)●七月のエアコン出荷台数、冷夏の前年に比べ二・八六倍の一五八万六五〇〇台で過去最高。
25(木)●米国上院、銃規制含む犯罪対策法を可決。
26(金)●東京の熱帯夜、この日までに最多の四〇日間。
27(土)●NHK、日ハム対西武戦を初の実況なし中継。
28(日)●初の気象予報士国家試験、合格者は一八㌫。
29(月)●農水省、干ばつ被害が五九七億円と発表。
30(火)●完全失業率が七年ぶり三㌫の高水準と総務庁。
31(水)●東京のディスコ「ジュリアナ東京」閉店。

▶**関西国際空港、離陸(9月4日)**7年半がかりで、大阪の泉州沖に建設された海上空港が完成。24時間運用、多様なアクセスを誇るが、巨額の工事費、長引く航空不況を抱える苦難の出発となった。

読売新聞社

◀**イチロー、200安打(9月20日)**122試合目の対ロッテ戦で3安打、オリックス入団3年目、20歳の若者が史上初の大記録を達成。この年、パリーグのMVPに輝いた。

読売新聞社

◀**自衛隊のルワンダ救援本隊が出発(9月30日)**100人が家族に見送られ成田空港を離陸(写真)。難民キャンプのあるザイールのゴマへ。先遣隊を引き継ぎ、年末まで医療・防疫・救済活動を行った。

「FRIDAY」/上本正春

▶**強風で貨物船「座礁」(9月30日)**近畿を縦断した台風26号が、津市の造船所で建造中の2隻を、阿漕浦海岸に運んだ。260メートルの巨体に住民はびっくり。

◀**バルト海で大型フェリー沈没(9月28日)**フィンランド沖で、強風のため座礁。1049人中、助かったのはわずか140人だった。写真はヘリによる救出者。

ロイター　サンテレフォト

共同通信社

読売新聞社

▲**白川郷を世界遺産へ(9月14日)**文化庁が、岐阜・富山の伝統的民家が残る地域を、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として推薦。翌年、「リスト」に登録された。

平成6年9月

1(木)●東京都、世界都市博の前売り入場券の発売開始(10月27日臨海副都心で会場建設の起工式)。
2(金)●気象庁、東北南部から九州にかけての六～八月の平均気温は観測史上最高と発表。
3(土)●中口首脳会談、長期友好関係の樹立で合意。
4(日)●初の二四時間空港、関西国際空港が開港。
●武豊が仏GⅠ制覇、日本人初の欧米GⅠ勝利。
5(月)●カイロで国際人口・開発会議を開催(～13日)。
6(火)●スイスの民間機関の『世界競争力報告』で、日本は八年間維持の世界一転落、米国が一位に。
7(水)●板門店の朝鮮軍事休戦委、中国と北朝鮮代表の引揚げで機能停止、約四〇年の歴史に幕。
8(木)●ベルリンで四九年間駐留の米英仏軍が撤退式。
9(金)●政府、経営悪化のチッソ支援を決定。
10(土)●社会人野球初の女性選手、「航空自衛隊千歳」の明石波恵が公式戦に初出場。
11(日)●福岡県警、連続発砲事件で暴力団・草野一家本部など七二カ所を捜索、一八人検挙。
12(月)●食品衛生調査会、食品の日付を「製造年月日」から賞味など「期限」表示に変更と答申。
13(火)●運輸省、成田空港の滑走路新設を断念と表明。
14(水)●住友銀行名古屋支店長が自宅前で射殺。
15(木)●米地裁、服部剛丈君民事訴訟で、米国人の銃発射の過失認め、賠償金の支払いを命令。
16(金)●米国、厚木基地建設工事談合で五三社を提訴。
17(土)●中国、北朝鮮に食糧と石油援助で合意と外電。
18(日)●比叡山の千日回峰を上原行照阿闍梨が達成。
19(月)●全国の地価が三年連続下落、地価日本一は東京・銀座から有楽町と大手町へ、と国土庁。
20(火)●オリックスのイチローが二〇〇安打達成。
21(水)●国内総生産はマイナス〇・四％成長と経企庁。
22(木)●日米合同グループ、エチオピアで最古の猿人(ラミダス猿人)の化石発見と英科学誌に発表。
23(金)●政府、消費税五％など税制改革大綱を決定。
●関西文化研究都市が三割完成し「街びらき」。
24(土)●宮内庁、三笠宮寛仁の右首への癌転移を発表。
25(日)●劇団「四季」がソウル公演。日本の劇団では初。
26(月)●農水省、同省開発の遺伝子組み換えトマトの安全性を初めて確認(正式承認は翌年)。
27(火)●中国産の朱鷺が人工増殖のため佐渡に到着。
28(水)●バルト海で大型フェリー「エストニア号」が沈没、六五人死亡、八四四人行方不明。
29(木)●新日鉄、四〇〇〇人が出向・転籍に同意と公表。
30(金)●ルワンダ難民救援で自衛隊の本隊が出発。

共同通信社

◀**村山首相、自衛隊を観閲(10月30日)**埼玉・朝霞訓練場の式典に社会党の首相として初出席。党は前月、自衛隊合憲を打ち出したばかり。隊員たちに「憲法の範囲内で責任ある役割をはたす必要がある」と訓示した。

▶**都心に欧州の街並み(10月8日)**東京・恵比寿のサッポロビール工場跡地に、「恵比寿ガーデンプレイス」が誕生。約8万平方メートルに、超高層のオフィス、デパート、ホテル、高層住宅などが建った。

毎日新聞社

毎日新聞社

◀**輸入野菜が急増(9月)**円高と2年続きの異常気象が後押し。国産より2～3割も安く人気を呼んだ。写真は、東京・葛飾区のイトーヨーカ堂。カリフォルニア産レタスや、中国産のシイタケが並んだ。

共同通信社

▶**長嶋巨人、悲願の日本一(10月29日)**東京ドームの日本シリーズ第6戦で、槙原が好投、西武に3対1で勝ち通算4勝2敗。前年13年ぶりに復帰した長嶋茂雄の「お祭り野球」が、森祇晶のセオリー野球を破った。

▶**ソウルの聖水大橋が崩落(10月21日)**旧市内と新興住宅街を結ぶ漢江の橋が、朝の混雑時に崩れ、32人死亡。継ぎ目の腐食を放置した人災と、当局が断定。

共同通信社

◀**「北海道東方沖地震」起こる(10月4日)**M8.1。釧路と厚岸町では、震度6の烈震。負傷者436人、家屋の全半壊26棟も。写真は、根室市大正町の様子。

毎日新聞社

平成6年10月

1(土)●西太平洋のパラオ共和国が独立。
2(日)●広島でアジア大会開幕(～16日)。
●米国誌の長者番付でビル・ゲイツが世界一。
3(月)●警察庁がパチンコ景品の換金制導入と新聞に。
4(火)●北海道根室半島沖でM八・一の地震、「北海道東方沖地震」。北方四島で被害甚大。
5(水)●高松宮宣仁の軍部批判の日記発見、と新聞に。
6(木)●文部省、月二回の学校土曜休日方針を発表。
7(金)●政府、六三〇兆円の新公共投資計画を決定。
8(土)●「長嶋巨人」、最終戦で中日を破りセリーグ優勝(29日、西武に勝って初の日本一)。
9(日)●長野県上田市で石油タンク炎上、三人死亡。
10(月)●天皇、皇后がマドリードで王宮晩餐会(カルロス国王からの勲章紛失が判明し問題化)。
11(火)●ロのルーブルが対ドル二七・四％の大暴落。
12(水)●米国の金星探査機が任務終え大気圏に突入。
13(木)●大江健三郎、ノーベル文学賞を受賞(14日、文化勲章は「自分に似合わない」と辞退)。
14(金)●二七歳の英女性が徒歩で世界一周を達成。
15(土)●秋サケが空前の豊漁で前年の六割安と新聞に。
16(日)●フィンランド、国民投票でEU加盟を承認。
17(月)●英女王が訪ロ。英王室とロ、七七年ぶり和解。
18(火)●米朝高官協議、核開発問題で合意(21日調印)。
19(水)●都市銀行大手五行が証券子会社を設立。
20(木)●三重県教委、全国初の全員推薦入学で全寮制の公立高校開設を発表。
21(金)●ソウルで漢江の聖水大橋が崩落、三二人死亡。
22(土)●政府、ウルグアイラウンド合意にともなう国内農業対策費を六兆一〇〇億円と決定。
23(日)●大阪でAPEC中小企業担当相会合開催。
24(月)●新婚旅行は平均費用六三万円、日数八日間、海外九六％で、不況下でも不変と交通公社。
25(火)●京急・青物横丁駅で医師が拳銃で撃たれ死亡(28日、医師に手術を受けた男を逮捕)。
26(水)●イスラエルとヨルダンが平和条約の調印式。
27(木)●大蔵省、日本たばこ産業株を上場。終値一一〇万円で売り出し価格を約三三万円下回る。
28(金)●米国の財政赤字が軍事費削減と増税効果で、前年度より二〇・三％圧縮。
●米の作柄予測は戦後五番目の大豊作と農水省。
29(土)●携帯・自動車電話が料金と電話機の大幅値下げで爆発的人気、半年で前年の二倍と新聞に。
30(日)●全国八割の地点で地価監視制を緩和と新聞に。
31(月)●宮内庁、恩賜のタバコ制を一部中止。

▶フォアマン、45歳の執念（11月5日）ヘビー級選手権でモーラーを10回KO。1974年にアリに負けて以来の栄冠を獲得、史上最年長の王者となった。

ロイター／サン／共同通信社

▲法隆寺の焼損金堂を公開（11月1日）焼け残った金堂の柱や壁画を復元、それを丸ごと入れた収蔵庫が完成。抽選に当たった1万人が、この日から見学した。

毎日新聞社

▼神戸製鋼の「無敵神話」崩壊（11月27日）神戸市で開催の関西社会人リーグで、ワールドに1点差の惜敗。ＳＯ平尾ら主力の欠場に泣いた。連勝は6年間71でストップ。

読売新聞社

共同通信社

▲「いじめ」つづり自殺（11月27日）愛知県の中学2年生・大河内清輝君が自宅で首吊り。遺書に脅迫・「いじめ」の実態がなまなましく記され、衝撃を与えた。写真は会見する両親。

読売新聞社

▲つくば母子殺害事件で、夫の医師を逮捕（11月25日）捜査当局は、夫が自宅で妻と2児を殺害し、京浜運河に捨てたと断定。テレビが事件に密着、被害者の人権問題に発展した。

毎日新聞社

▼貴乃花（22）、横綱に昇進（11月23日）2場所連続優勝で文句なし。26日、明治神宮で露払い・貴ノ浪、太刀持ち・若乃花を従え、雲竜型の土俵入りを奉納した。

共同通信社

▲「安達祐実様」への小包爆発（12月20日）東京の日本テレビ局内で開封した男性らが大怪我。安達（13）はドラマ「家なき子」の「同情するなら金をくれ」の台詞で話題だった。

共同通信社

◀皇太子夫妻、中東を歴訪（11月6日）サウジアラビアに到着し、結婚2年目で初の国際親善を開始、4ヵ国を巡遊した。写真は、リヤド郊外の「赤い砂漠」を散策するお二人。

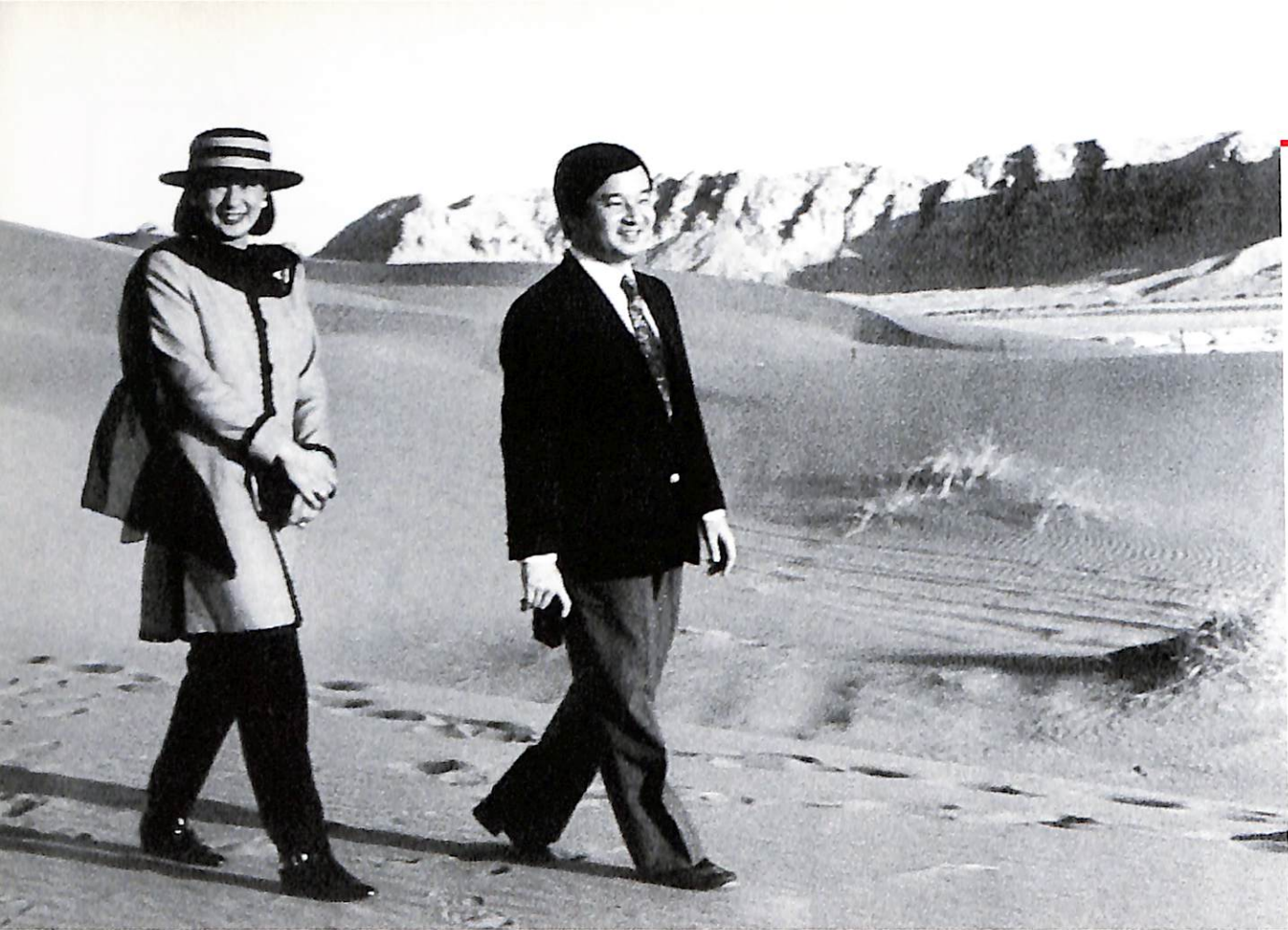
AP／WWP

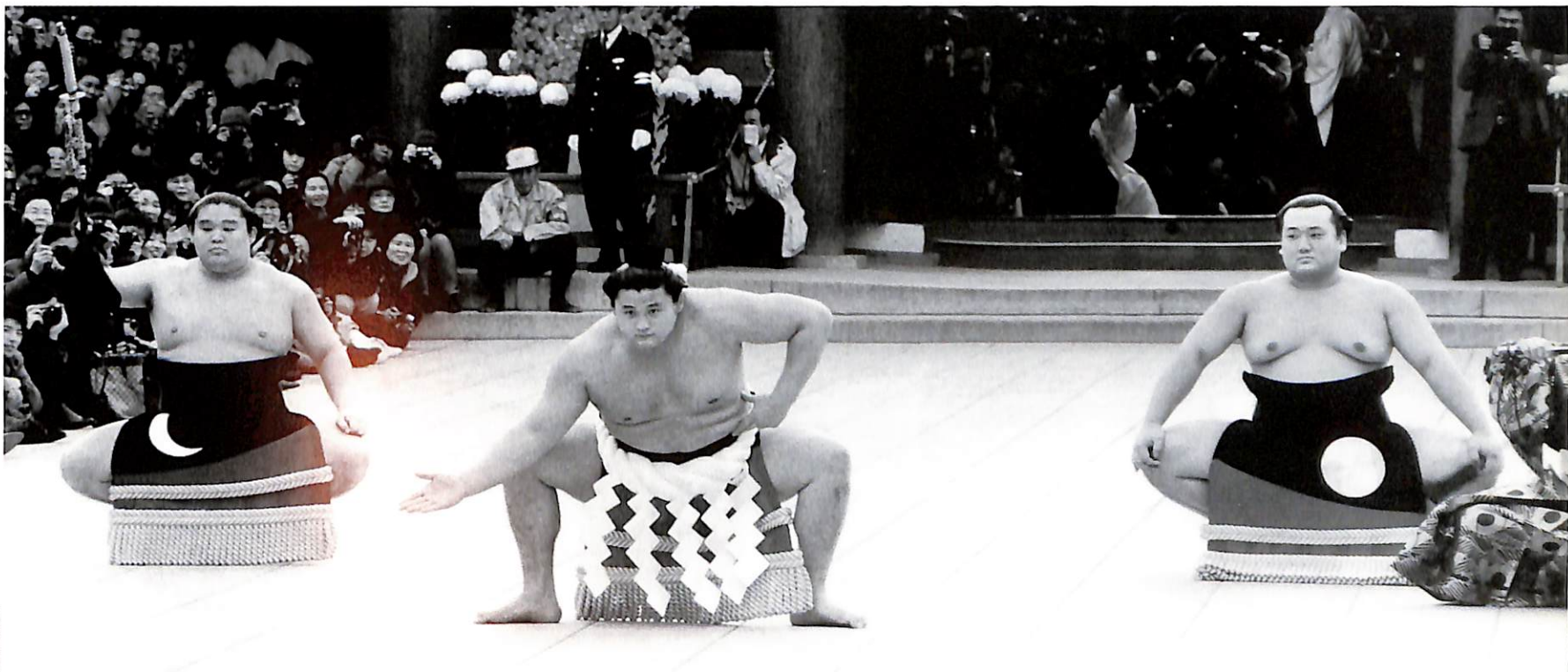
◀ロシア軍、チェチェンを攻撃（12月22日）武力侵攻以来最大の空爆を敢行。兵士・民間人の4万～5万人が死亡。翌年1月、首都・グロズヌイを制圧。独立派は南部に後退した。

読売新聞社

▼「三陸はるか沖地震」起こる（12月28日）M7.5。青森・岩手などで222棟が全半壊。写真は、震度6を記録した八戸市のパチンコ店の惨状で、1階がつぶれ二人が死亡した。

読売新聞社

◀ナリタブライアン、4冠（12月25日）千葉・中山競馬場の有馬記念で、南井騎手が1番人気にこたえ、4歳で4冠を達成。「平成の最強馬」と呼ばれた。

共同通信社

▲新進党、スタート（12月10日）横浜の国際会議場で結党大会。党首・海部俊樹、幹事長・小沢一郎のもと、旧新生・日本新党など衆参両院議員214人が参加する一大野党が誕生した。

平成6年11月

1（火）●法隆寺の焼損金堂の復元完成し一般公開。
2（水）●厚生年金の支給年齢を六〇歳から六五歳に遅らせる年金改革関連法が成立。
3（木）●横浜港でつくば市の女性死体発見（7日女児、12日男児の死体発見。25日夫の医師を逮捕）。
4（金）●安保理、ソマリアＰＫＯの全面撤収を決定。
5（土）●四五歳のフォアマン、ヘビー級タイトルマッチで二〇年ぶりに王座奪回。
●レーガン元米大統領、アルツハイマー病告白。
6（日）●皇太子夫妻、中東四ヵ国歴訪に出発。
7（月）●城南信用金庫が日本初の懸賞金つき定期預金の発売を開始、四日間で一四〇億円突破。
8（火）●京都で平安建都一二〇〇年記念式典を開催。
9（水）●緊急輸入米の四割九八万トン売れ残りと食糧庁。
10（木）●イラクがクウェートの主権と国境を承認。
11（金）●改正自衛隊法成立。隊機で邦人救出が可能に。
12（土）●米大統領、一九年ぶりにフィリピン訪問。
13（日）●一〇年間に一七七一の宗教法人設立と新聞に。
14（月）●国連総会、対人地雷廃絶を決議（12月15日、日本単独提案の核廃絶決議案を採択）。
15（火）●コール独首相、一票差で五選をはたす。
16（水）●オランダの「安楽死」ドキュメント番組がＴＢＳテレビで放映され、賛否の反響約五〇〇件。
17（木）●池子米軍住宅建設問題で、国、神奈川県、逗子市が一二年ぶりに正式和解。
18（金）●文化財保護審、国の重要文化財に法務省旧本館、道後温泉本館などの指定を答申。
19（土）●貴乃花が二場所連続優勝（23日、横綱昇進）。
20（日）●外務省、太平洋戦争時の外交文書公開。日本の開戦通告遅延は「駐米大使館員の怠慢」と判明。
21（月）●小選挙区区割り法案など改革関連三法が成立。
22（火）●防火スプレーで初の死者、厚生省が注意喚起。
23（水）●森光子主演の「放浪記」、一二〇〇回目の上演。
24（木）●自動車生産二五ヵ月ぶり増加と自動車工業会。
25（金）●『原子力白書』、日本のプルトニウム保有量は一〇・八八一トンと世界で初めて詳細に発表。
●ソニーの創業者・盛田昭夫が会長を退任。
26（土）●総理府の世論調査で、死刑容認が七四％。
27（日）●愛知県西尾市の中学二年生・大河内清輝君が、「いじめ」を苦に自殺。
28（月）●広島アジア大会での中国選手一一人に禁止薬物の陽性反応（12月3日、メダル剥奪）。
29（火）●東京で八ヵ国参加し、初の銃器対策国際会議。
30（水）●東京高裁、非嫡出子の相続格差は違憲と判決。

平成6年12月

1（木）●京都に世界人権問題研究センター開設。
2（金）●コンピュータウイルスの被害が年間初の一〇〇件突破、と情報処理振興事業協会。
3（土）●警視庁、出張ホストクラブ詐欺事件で一三人逮捕。被害男性三二〇〇人、総額一三億円。
4（日）●ボクシングのバンタム級で薬師寺保栄が、辰吉丈一郎を判定で破り王座防衛。
5（月）●労働省、前年の女性就業者は二六一〇万人で、一八年ぶりに九万人減少と発表。
6（火）●ベトナムで赤ちゃん売買ルート摘発と新聞に。
7（水）●アイヌ詞曲舞踊団・モシリが初の東京公演。
8（木）●米国郵政公社、日本被団協の抗議で、原爆雲デザインの切手発行を取り止めると発表
9（金）●国税庁、地ビール「エチゴビール」など初免許
●被爆者援護法が参院で可決、成立。
10（土）●新生・日本新党など参加の新進党結成大会。
11（日）●ロシア軍、チェチェン共和国に侵攻。エリツィン政権初の軍事介入。
12（月）●ＮＡＳＡ、平成七年のスペースシャトル「エンデバー」に、若田光一の搭乗を発表。
13（火）●自動車工業会、政治献金再開を決定。
14（水）●中国で世界最大の水力発電所、三峡ダム起工。
15（木）●世界遺産委員会、京都の清水寺、平等院など一七社寺、城郭を世界遺産に決定。
16（金）●北九州市で二四時間巡回介護モデル事業開始。
17（土）●米軍ヘリ、北朝鮮領内に不時着、乗員一人死亡。
18（日）●総務庁、各省庁の許認可数が初の減少と発表。
19（月）●出雲市、酒や有害図書自販機の撤去条例可決。
20（火）●日本テレビで「安達祐実様」宛郵便物が爆発。
21（水）●狭山事件で無期懲役刑の石川一雄が、仮出獄。
22（木）●北朝鮮、民間航空機に領空を開放と発表。
23（金）●京都に国立国会図書館関西館の建設決まる。
24（土）●イスラム過激派、仏機を乗っ取り（26日、仏特殊部隊、犯人全員を射殺し人質を救出）。
25（日）●閣議、地方分権大綱を決定。
26（月）●佐世保など二六市町村が断水で越年と厚生省。
27（火）●消費者物価は〇・七％の上昇で七年ぶりの低さ、価格破壊や円高が原因と総務庁。
28（水）●八戸市中心にＭ七・五の地震。二人死亡。
29（木）●秋篠宮紀子さん、次女（佳子）を出産。
30（金）●東京外国為替市場は一ドル九九円八三銭、年初より一二％の円高で終了。
31（土）●厚生省推計で出生者数が二一年ぶりに前年より四万七〇〇〇人の大幅増、と新聞に。

伽楽多市（がらくたいち）

◀和月伸宏画「るろうに剣心」の連載が、「少年ジャンプ」19号からスタート。

©和月伸宏 集英社

流行語 中高生同士の優越ごっこ

「まだまだ青いね」。安達祐実主演のテレビドラマ「家なき子」は「同情するなら金をくれ」「人は裏切るものなんだ」「一生青春してろ」などの流行語を生んだ。これもそのひとつで、中高生の間で、自分が友人より優位にあることを示したい時に使われた。

「見てるだけ」。通信販売の「ニッセン」のテレビCMから出たもので、ウインドウショッピングの意味で使われた。セックスが間遠になった夫婦をさすこともあった。

「情報貧民」。パソコンを扱えない中高年（サラリーマン）のこと。若者からは嘲笑の対象、企業内ではリストラの対象とされた。

「ほほえみ症候群」。OLの間で無理に笑顔を作っている女性たちのこと。会社で〝認められたい〟と無理を重ねてきた女性の中に、鬱的症状を示すケースが多く見られるようになった。燃え尽き症候群の一歩手前、かろうじてほほえんでいるという意味。

「サイババ現象」。サイババは、超能力を持つと言われるインドの修行者。超能力者への関心の高さがこう呼ばれた。

秘境 六〇キロのアジが釣れる日本国内のパラダイス

（鹿児島発）日本国内にあり、ちゃんと住民もいるのに、ほとんどその存在を知られていない島がある。鹿児島県は中之島。だから自然は手つかず、釣れるアジはなんと六〇キロ！

島の住民は約二〇〇人。誰もが畑で自分が食べる分だけ野菜を作ったり、魚を釣ったりして暮らしているから、現金はほとんど必要としない。泥棒がいないから、警察は週一回見まわりに来るだけ。温泉があるから家に風呂もない。国から一億円の助成金をもらった時は、星でも見るかというので天文台を作った。

釣り客が来ないから魚も肥り放題。六〇キロのロオニンアジを釣り上げたのは島の郵便局に勤務する斎藤さんだが、どんな魚も大きくて引きが強いので、堤防にドリルで穴をあけ、竿を固定することが必要だという。

（「DENIM」四月号）

CM100年 タレント・宮沢りえ

ポスター「すったもんだがありました。──タカラcanチューハイ（フルーティ）すりおろしりんご」（宝酒造）

スポーツ 中国の庶民の遊びがゴルフのルーツに!?

「ゴルフのルーツは、中国の五代十国時代（西暦九〇七～九七九年）に始まった捶丸である」

中国の大学教授がこんな研究を発表した。捶丸とは小さい玉を棒で打つという意味で、これがシルクロードを経由してヨーロッパに伝わり、ゴルフになったというわけ。教授によると、当時、中国ではこれが庶民の遊びとして広がっており、ルールも現在のゴルフと基本は同じだという。

（「朝日新聞」一二月一日）

教育 第一反抗期が消えた教育心理学者の指摘

幼児が何でもイヤと反発する第一反抗期が、今の子どもたちから消えてしまったという。教育心理学者の河野良和さんが指摘しているもので、普通、第一反抗期は三歳頃に見られ、第二反抗期は一二～一五歳頃現れる。反抗を通して子どもは自分の思いどおりにならないことを知り、自制力や適切な要求の通し方を身につけていく。

なぜ、その第一反抗期が消えたか。「親が子どもの要求に制限を加えないばかりか、先まわりして満たすから」と河野さん。これでは自立心は育たない。しかも子どもの要求はエスカレートするから、親も満たしてやれなくなり、その時初めて、ぶつかり合いが起きる。「家庭内暴力は一見、伝統とか権威に反抗する第二反抗期に起こると思われているが、質的には幼稚で、第一反抗期がずれこんだもの」と河野さんは見ている

（「中日新聞」六月一五日）

▶三重県桑名郡長島町の「ナガシマスパーランド」で、木製コースターが完成。

毎日新聞社

◀5月20日、安芸の宮島・厳島神社の「宮島歌舞伎」が約100年ぶりに復活。人気女形の沢村藤十郎が、「沢紫鹿の子道成寺」を奉納した。

読売新聞社

三面記事 僧侶をめざして順番待ち

リストラによる退職などサラリーマンの受難時代、僧侶になるための予備校が人気を集めている。

この予備校は東京・荒川にある「東京国際仏教塾」で、昭和六三年に創設された。年間の定員は五〇人、開校当初は一〇人前後しか集まらなかったが、ここ数年は希望者が三〇〇人以上、現在、入塾できなかった人が順番待ちしている状態である。

年齢、性別はまったく関係がなく、平成六年度も入塾者の一割は女性だった。ただ目的が目的だけに中高年以上が多く、入校の動機も「これまでがむしゃらに働いてきて、景気が悪くなった時自分を振り返ったら、精神的なバックボーンが何にもないことに気がついた」（一流商社の重役）などと、心の満足を求めて僧侶をめざすケースがほとんど。

講義は入門コースと専門コースに分かれ、受講料は合わせて二三万五〇〇〇円。ここを出てもすぐに僧侶になれるわけではなく、僧侶になっても、生活できるようになるまで四、五年の修行が必要だが、それを承知で入校を希望する人がひきもきらない。

（「報知新聞」一二月五日）

海外 町ごと売ります 値段一七五万ドル

（ロサンゼルス発）何でもありのアメリカで、ついに町が丸ごと売りに出された。ところはカリフォルニア州とメキシコとの国境にある、カンポという人口二〇〇〇人ほどの町。

売りに出したのはこの町を所有するへスロップ氏夫妻で、売値は一七五万ドル。同氏によると土地家屋の賃貸料だけで月に二万ドル。北米自由貿易協定が本格化すれば、さらに発展が期待できるというのが、この値段の根拠。

ちなみに町を買った人は郵便局や消防署、鉄道駅など政府所有のものをのぞいて、町が丸ごと自分のものになる。町長兼警察署長になることもOKという。

（「サンデー毎日」三月六日号）

社会 SM遊びかと思ったらテレクラ利用の女強盗

八月一七日夜、東京・渋谷のラブホテルで、美女二人の犯行による珍事件が発生した。

被害者は会社員Aさん（三八）。仕事の帰りにテレクラに寄ると、若い女性とデートの約束成立。これが二十四、五歳のすごい美人で、食事をしながら「ホテルへ」と誘うと、「それなら私の知っているところへ」と二つ返事。ホテルに入ってベッドインしようとしたところ、別の、これまた美人がやって来た。ところが二人はAさんの足腰に高圧電流のスタンガンを押しつけ、後ろ手に縛りあげると、素っ裸のAさんの姿をポラロイドでパチパチ。

意外な展開に、Aさんは〝新手のSM〟と思ってワクワクしたという。だから、女性に現金二万円とキャッシュカードを盗られて、「暗証番号は」とたずねられた時もスラスラと答えた。だが二人はそのままドロン、裸で縛られたAさんが「おかしい」と感じたのは、それから一時間も後だった。

（「週刊宝石」九月八日号）

▲岩手県金ケ崎町郊外で、1月16日に開かれた本州初の公認犬ゾリレース「第1回東北選手権」。全国から300匹の犬が参加した。

読売新聞社

この年の初もの 一個一〇万円骨壺の専門店

●**男性用ガードル** 三月、ワコールから発売。三カ月で二万枚以上売れる大ヒット。

●**バンジージャンプ** 七月、愛知県の「南知多グリーンバレイ」にお目見え。

●**街頭防犯ベル** 一〇月、長崎県諫早市の繁華街に設置。

●**猫専用の風邪薬** 東レが世界で初めて発売（獣医向け）。

▶一月一三日、高橋久子さん（六六）が、裁判制度史上初の女性最高裁判事に。

共同通信社

はやり歌

innocent world

黄昏の街を背に
抱き合えたあの頃が
胸をかすめる
軽はずみな言葉が
時に人を傷つけた
そして君は居ないよ
窓に反射る　哀れな自分が
愛しくもある　この頃では
Ah　僕は僕のままで
ゆずれぬ夢を抱えて
どこまでも歩き続けて行くよ
いいだろう？　Mr. myself
いつの日も　この胸に流れてる
メロディー
軽やかに　緩やかに　心を伝うよ
陽のあたる坂道を昇る　その前に
また何処かで　会えるといいな
イノセント　ワールド

作詞 作曲 桜井和寿

▶「CROSS ROAD」で大ヒットを飛ばしたグループ、mr. childrenの、二曲目のミリオン・セラー。CMソングとしても使われ、話題になった。

TOY'S FACTORY 提供

愛が生まれた日

恋人よ
今　受け止めて
あふれる想い
あなたの両手で
恋人よ
今　瞳を閉じて
高鳴る胸が
2人の言葉
キャンドルの炎に
揺れてるプロフィール
世界で一番　素敵な夜を
見つめている

作詞 秋元康 作曲 羽場仁志 編曲 萩田光男

◀テレビドラマ「そのうち結婚する君へ」の挿入歌。エキセントリックな女優として知られる藤谷美和子と大内義昭のデュエットで、大ヒットした。

日本コロムビア提供

世界の動き

7月9日の平壌放送で始まった北朝鮮の混乱
経済停滞、食糧危機、核疑惑など「負の遺産」を残して
"最後のカリスマ"金日成、急逝！

一九九四年、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の金日成主席が急逝した。第二次世界大戦以降、権力の座にとどまっていた最後の指導者だった。後継者には長男の金正日氏がついた。だが、その後の北朝鮮には、食糧危機をはじめ経済破綻、核疑惑、ミサイル発射実験の強行による国際的孤立など、難問が山積している。

▲7月9日正午の放送直後、平壌市万寿台の丘にある金主席の銅像前には市民数万人が集まり、半世紀にわたって君臨した最高指導者の死を悼み悲しんだ。 中丸薫／共同通信社

死去の報道に動揺し号泣する北朝鮮民衆

「朝鮮労働党総書記兼朝鮮民主主義人民共和国国家主席である金日成同志が、七月八日午前二時、急病のため逝去した」

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の平壌放送が、特別放送を流したのは、一九九四年七月九日正午のことだった。

同月一九日には二〇〇万人が参加して永訣式（告別式）が、二〇日には追悼大会が行われた。金主席の棺は高級外車に乗せられ、「金日成将軍の歌」が流れる中、二〇台のオートバイに先導されて、約三時間半をかけ、平壌市内を一周した。一方、注目された子息・金正日書記（五二）の追悼演説は、行われなかった。享年八二だった。

金主席は、カリスマ的権威があっただけに、国民の動揺は大きく、テレビは、悲しみに泣き叫ぶ民衆の画像を繰り返し放映した。

ジャーナリストの韓桂玉氏によれば、心臓に持病があるとされた金主席は、執務中に発作を起こし、執務机に突っ伏したまま死去したという。

主席の死後、ただちに後継者指名がなされなかったため、権力闘争か、との臆測も流れた。曰く、本命の正日氏と、異母弟の金平日氏（四〇＝当時・駐フィンランド大使）との間に後継争いがあるのでは。曰く、故・主席側近が正日氏の後継に難色を示している、などである。

▶息子・金正日書記と並び立つ、ありし日の金日成主席。死去にともない「偉大な首領」の呼称は、金正日書記に受け継がれた。 朝鮮通信社

だが、時間の経過とともに、こうした見方は影をひそめた。一九九七年二月に韓国に亡命した黄長燁元朝鮮労働党書記（当時・七四歳）は、記者会見で「軍は無条件で金正日書記に服従する態勢だ。（北朝鮮は）金正日個人の国であり、すべての政策は金書記が決定する」（一九九七年七月一〇日）と述べ、正日氏が軍を掌握し、確固たる権力基盤に立っていることを明言した。

静岡県立大学の伊豆見元教授は、「権力承継をさまたげる障害はとりたててなかったのに、正日氏の総書記就任が三年後の九七年一〇月になってしまったのは、父親が残したあまりに大きな負債にたじろいだからではないか」と言う。

唯一独裁体制のもと暴走し始めた北朝鮮

金主席の生涯は、秘密のベールにおおわれている。

「そもそも彼が『金日成』なのかが疑問とされています。北朝鮮を占領したソ連軍が、一九四五年一〇月、金成柱という青年を『金日成』にすりかえた可能性があり、その舞台は平壌の『朝鮮解放祝賀集会』で、彼が三三歳の時でした。会場では『金日成将軍があんな若僧のはずがない』という声が聞かれました」

と言うのは、西側のジャーナリストとして、一年以上平壌に駐在した希有な体験を持つ萩原遼氏である。

一九四八年、朝鮮民主主義人民共和国の初代首相となった金主席は、経済建設に指導力を発揮し、一時は韓国に水をあける実績を見せた。しかし、一九六五年の日韓基本条約を契機に、南北の経済力は逆転する。韓国が高度成長をとげたのに対し、北朝鮮経済は中ソとの関係希薄化、ベトナム戦争、オイルショックなどで停滞せざるをえなかった。さらには一〇〇万人以上の兵力維持という軍事負担により、経済は破綻におちいっていく。

金主席はこれを「主体思想」による引き締めでしのごうとする。主体思想とは、金日成思想のもとに政治の自主性、経済の自立、自主防衛をはかろうとするもので、「偉大な金日成同志の革命思想以外知らないという確固たる立場」と位置づけられたものだった。北朝鮮では、これを唯一思想大系と呼んでいるが、金主席の神格化と独裁体制が確立したのは、一九六七年の朝鮮労働党第四期第一五回中央委員会総会だと言われる。

前出・萩原氏はこう語る。

「この総会で、金主席らは、『革命が深化する過程で、党内にひそんでいたブルジョアおよび修正主義者が再びうごめくようになった』と述べ、軍の力をバックに、金路線に忠実なもの以外を一掃しようとしました。大粛清が行われたのです。

一九六一年の第四回党大会で選出され

▲7月11日、平壌の錦繍山議事堂に安置された金日成主席の遺体。 朝鮮通信社

外から見たNIPPON

日系三世・ケイコを通して見た出稼ぎブラジル人と「日本」

——佐伯 修

「戦争に負けて半世紀後、若いケイコは祖父が夢見た戦勝国のようにも見える日本へやってきた。よりよい生活条件を求めて、大量のブラジル人が最近故国を脱出するようになったが、ケイコもそういう出稼（でかせ）ぎ者の一人だったのだ。日本の法律によれば、日系人であるケイコは、三年ごとにビザを更新しさえすれば、日本に好きなだけ滞在することができるし、どんな職業についてもかまわない」（小高利根子訳）

ブラジルのジャーナリスト、マルコ・ラセルダ（一九五二〜）が日本での取材をもとに書いた「ノンフィクション・ノベル」、『ハイテクのスラム』（邦題『サンパウロ・コネクション』）より。同書は、この前年、平成五年に本国で出版されて、日本での出稼ぎブラジル人女性らの組織売春の実態が取り上げられていたことから反響を呼び、この年、内容を一部改めた日本版が出た。

さて、日本国内で働く出稼ぎ日系ブラジル人が急増するきっかけは、ラセルダが日本の性風俗産業の取材のため来日する前年の平成二年、出入国管理法の改正により、日系外国人の就労への規制が大幅に緩和されたことにある。

パラナ州の農家の末娘、日系三世で二一歳のケイコもまた、そんな流れに乗って、来日し、自動車の組み立て工場で働きだした。しかし、まもなく出稼ぎ仲間の女性から、性風俗産業で働けばもっと儲（もう）かると聞いた彼女は、「世界中を旅行するお金をためたら、すぐにやめようと思って」、当時まだ「トルコ風呂」と呼ばれていた「ソープランド」につとめだす。

「夜の七時から明け方の四時まで働き、一日平均五人の客をとる。料金は一人二百五十ドルでそのうち三十ドルは店にはらう。だから、最低月に二万ドルの収入がある勘定だ」というケイコは、体を売って稼ぐ生活を「地の果てみたいなブラジルの農場にいるよりはマシよ」と言い切る。

「『親たちに文句を言われる筋合いはないのよ。私が稼いだお金で、もうブラジルに親のために寝室が四つもあるマンションを買ってあげたし、自分用にはビルの最上階の一番よいマンションが買えたのよ』ケイコは休暇をとってバリ島の金持ち用のリゾートで三ヵ月も遊び、最先端のモードの服に身を包み、最新のポルシェを乗りまわしている」

そんな彼女の祖父は、第二次世界大戦後、日本の敗北を受け入れず、日系人同士の殺傷沙汰すら招いた「勝ち組」だったという。この日系人の祖父と孫にとって、「日本」とは何だったのだろうか？

O · Ribeiro

▲行徳市のアパートに住み、取材したラセルダ。

た八五人の中央委員中、五三人（六二（パーセント））が七〇年の第五回大会までに姿を消しました。中央委員候補も同様です。物故者や引退者もいるでしょうが、六割を越えるというのは異常としか言えません」

クーデター的方法で確立された唯一独裁体制のもと、北朝鮮の暴走には歯止めがかからなくなり、国際的孤立化が進行する。その具体的な表れが、一九六八年一月の青瓦台（せいがだい）（韓国大統領官邸）襲撃未遂事件だった。なお、韓国側によれば、金主席は一九七二年に、秘密裏に平壌を訪れた李厚洛（イフラク）・KCIA（韓国中央情報部）部長に「左翼分子がやったことで、我々は知らなかった」と釈明したという。

そして一九八三年、韓国閣僚ら二一人が死亡したビルマ（現・ミャンマー）のラングーン（現・ヤンゴン）爆弾テロ事件、ソウル五輪前年の一九八七年一一月に起きた金賢姫（キムヒョンヒ）らによる大韓航空機爆破事件と続く。

こうした中で、北朝鮮は、金主席の長男の金正日氏を後継者に指名、着々と「世襲」の認知をはかってきた。金正日氏は、映画好きが昂じて、韓国のトップ女優を拉致（らち）するなどの奇行も伝えられている。その金正日氏が、権力の座にのぼり詰めるのと並行して、北朝鮮を襲ったのは経済不振、さらに食糧難・飢餓である。韓国の仏教団体の調査によると、北朝鮮では過去二年半に、飢餓または飢えとの合併症で三五〇万人が死亡したという。

「北朝鮮は、援助引き出しのための外交カードとして核を使った。一九九三年の核拡散防止条約脱退以降の対米交渉を、北朝鮮は勝利と位置づけています。九四年一〇月のジュネーブ合意では、国際査察の受け入れと引き替えに、軽水炉開発援助などを西側から引き出しました。これに味をしめ、〝二匹目のドジョウ〟をねらったのが先日のテポドン・ミサイルでした」（ジャーナリスト・歳川（としかわ）隆雄氏）

朝鮮半島の情勢は、あいかわらず不安定な要因を抱えたままなのである。

金正日（1942〜）
北朝鮮の政治家。金日成主席の長男、シベリア生まれ。一九八〇年、党中央委員会政治局常務委員、同書記兼軍事委員に。九七年一〇月、総書記就任。

ロイター／サンテレフォト

▲7月19日、約200万人の市民に見送られ、平壌市内を1周する葬送行進。

往きて還らぬ

共同通信社

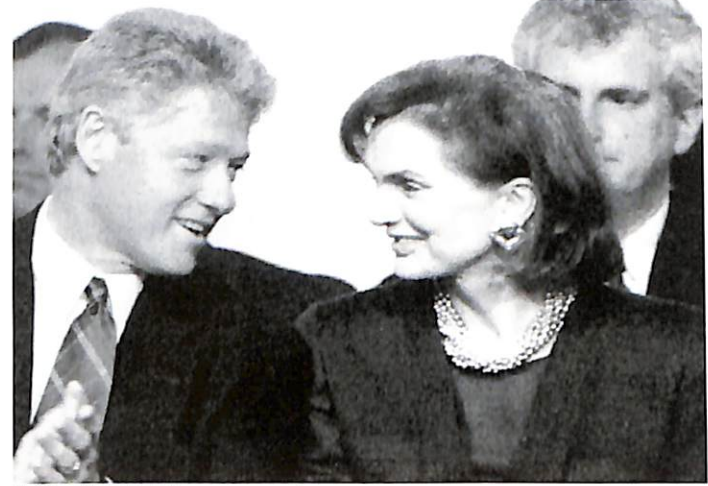
▲3月6日　メリナ・メルクーリ（68）
ギリシャの女優、政治家。映画「日曜はダメよ」（1960年）がヒット。1977年政界に進出、1981年文化相となる。

▲3月26日　山口誓子（せいし）（92）
昭和俳壇を代表する俳人の一人。東大卒。水原秋桜子らと「ホトトギス四S」と呼ばれ、新興俳句運動のリーダーに。

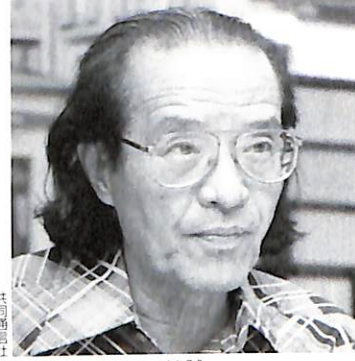
▲4月22日　R・M・ニクソン（81）
米の政治家。1968年第37代大統領に。1972年毛沢東と会見、米中関係改善を実現。ウォーターゲート事件で辞任。

▲4月26日　大山倍達（ますたつ）（70）
空手家。極真空手の創始者。FBIを指導、手刀による瓶斬りは〝神の手〟と称された。昭和50年世界大会開催。

▲5月20日　伊東正義（80）
政治家。昭和38年衆院初当選。外相をつとめ、大平首相急死の際は、首相臨時代理に。自民党ハト派の代表格。

▲7月26日　吉行淳之介（70）
小説家。昭和29年「驟雨」で芥川賞受賞。性と生を描き続けた。「夕暮まで」発表時、〝夕暮れ族〟が流行語に。

ロイター／サンテレフォト

▶5月19日　ジャクリーン・K・オナシス（64）
ケネディ元米大統領夫人。〝ジャッキー〟の愛称で親しまれた。一九六八年、ギリシャの海運王・オナシスと再婚。

共同通信社

▲10月7日　三木鶏郎（とりろう）（80）
作曲家。風刺とユーモアあふれる〝冗談音楽〟で一世を風靡。「ワ、ワ、ワー、ワが三つ」などCMソングも多数作曲。

▲10月20日　バート・ランカスター（80）
「OK牧場の決闘」で知られるハリウッドスター。1960年「エルマー・ガントリー」でアカデミー主演男優賞受賞。

▶9月8日　東野（とうの）英治郎（86）
新劇俳優。劇団俳優座創立メンバー、代表作は「教育」など。昭和四四年から、テレビの「水戸黄門」で人気者に。

共同通信社

▲11月13日　木村資生（もとお）（70）
国立遺伝学研究所名誉教授。遺伝学の第一人者、「分子進化の中立説」は国際的な論争に。昭和51年文化勲章受章。

▲11月20日　福田恆存（つねあり）（82）
保守派知識人の第一人者として、評論活動を行い、「平和論論争」を巻き起こす。昭和38年「現代演劇協会」創設。

共同通信社

▲12月21日　千田是也（これや）（90）
俳優、演出家。大正13年の「海戦」が初舞台。昭和19年劇団俳優座を結成し、戦後新劇界の指導者的役割を担う。

ミニ事典

1994年のキーワード

「悪魔くん」事件
東京・昭島市の三〇歳の父親が、長男を「悪魔」と名づけ、法務省と市から変更を迫られた事件。市はいったん戸籍に記載しながら、社会通念上不適当と判断して却下。父親の訴えを受けた家裁は二月一日、親の命名権の乱用との判断を示し、一方、出生届を受理しながら名前を抹消したのは違法とした。訴訟は長期化の様相を呈したが、結局、父親が五月「亜駆」と改名、市が受理した。

地ビール
毎日新聞社
▲製造免許第1号を受けた新潟の工場に、12月15日、直営パブが開店した。

地域の気候や風土、文化的独自性を生かしながら製造されるビール。日本では細川政権の重要政策のひとつだった「規制緩和」の一環として登場。四月一日の酒税法改正で、ビール製造免許の製造量が大幅に引き下げられ、中小企業にもビール製造が可能になったため、にわかに関心が高まり、「村おこし」に利用する自治体も現れた。一二月には、二銘柄が初めて製造免許を受けた。

世界貿易機関（WTO）
国際貿易を推進し紛争を処理するための機構。四月一二日のガットウルグアイラウンド（新多角的貿易交渉）閣僚会議で設立を決定。翌年一月発足した。ガットを引き継いだが、モノの取引だけを管轄したガットに対し、サービスや知的所有権も対象とする貿易の自由化をめざした。また、紛争を多国間の統一的手続きによって処理する「貿易裁判所」的機能も担うようになった。

子どもの権利条約
子どもの保護と権利の保障を定めた国際条約。一九八九年一一月、国連総会で採択され、翌年九月に発効。日本では批准が遅れ、平成六年五月二二日に発効した。この条約の大きな特徴は、子どもを一八歳未満と規定、保護の対象から権利の主体へととらえ直したこと。そのため、おとな同様の意見表明権、思想・良心・宗教の自由、結社・集会の自由などの保障を各国政府に義務づけた。

マルチメディア
文字・音声・映像などのさまざまな情報を、デジタル化して処理するもの。各家庭、企業、学校などをマルチメディアのネットワークで結ぶことで、ビジネスチャンスは無限と言われる。六月一〇日、郵政省は『通信白書』でこの年を「マルチメディア元年」と位置づけた。また、電気通信審議会は、光ファイバーによる高速通信網で、マルチメディア産業を発達させる構想をまとめ、市場規模を一二三兆円と予測した。

製造物責任（PL）法
欠陥商品により消費者が被害を受けた場合、欠陥が立証できれば製造者の過失を証明しなくても、損害賠償が得られるようにした法律。昭和四〇年頃からのスモン事件や、昭和四三年のカネミ油症事件などを端緒に立法化の動きが生まれ、六月二二日、通常国会で成立。翌年六月に実施された。消費者団体は、製造者が欠陥がないことを立証しない限り、欠陥商品とする「推定規定」がもられなかったことに、強い不満を表明した。

パレスチナ暫定自治政府
パレスチナ人悲願の国家建設への第一歩となる政府。イスラエル首相・ラビンと、PLO議長・アラファトが五月に結んだ協定により成立。イスラエル占領地域のうち、双方が妥協した地中海沿岸のガザ地区、ヨルダン川西岸のエリコ地区をまず自治領とした。七月一日、アラファトがガザを訪れ、本格的にスタート。しかし双方とも自治に反対する過激派を抱えており、前途は多難。

SL9木星衝突
日本の民間天文学者・中野主一らの計算が適中し、七月一七日から二二日まで続いた、シューメーカー・レヴィー第九彗星（SL9）の木星への衝突。一〇〇〇年に一度の特異な現象を、七億七〇〇〇万キロの距離を超えて予言した中野の業績がたたえられた。これを機に、米航空宇宙局（NASA）は専門家特別委を設置、地球に衝突する可能性のある小惑星や彗星を調査することになった。

読売新聞社
▶「一〇〇〇年に一度」と天文ファンが各地で観測会。写真は、東京のホテルで開かれたモニター画像の「観測会」。

国際エイズ会議
エイズにかかわる医学的・社会的な問題を、国際レベルで総合的に話し合う会議。八月七日、アジアで初めて横浜市で開催。研究者、NGO、感染者・患者など世界一四三ヵ国から一万二六〇〇人が参加。五日間にわたり、六〇〇の講演と多数の展示発表が行われ、中でも売春、母子感染などの問題を付随的に抱える「女性とエイズ」が大きな問題となった。

読売新聞社
▲会議とともに「エイズ・メモリアルキルト」が、広場に展示された。

ラミダス猿人
エチオピアのアワシュ川中流域で発見された、約四四〇万年前の猿人とみられる化石。学名はアウストラロピテクス・ラミダス。東大講師・諏訪元ら日・米・エチオピアなどの共同調査隊が発掘。英誌「ネイチャー」九月二二日号に発表された。それまで最古の人類とされたアファール猿人より五〇万〜一〇〇万年古く、人類の祖先が類人猿から分かれたとされる約五〇〇万年前に近かった。

政治改革関連三法
リクルート事件などの政治腐敗事件を断つために発案された公職選挙法改正、改正政治資金規正法、政党助成法の三法。一一月二一日成立、一二月二五日に施行された。これによって、衆院選は小選挙区比例代表並立制となり、政治献金は政党か政治家の政治資金団体ひとつに限る、所属国会議員数と得票数により、各政党に公費を助成するなどの、現行新制度が定められたが、いずれも新党・小政党には不利な内容となった。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1994

CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室（茂村巨利）＋渡邉裕一
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エービーシープレス 株カマル社 株コミュニケーションハウス・ケースリー シド・プロ 有マックス 有マライカ
飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 菊地美優貴 小松邦宏 張替政展
藤森雅弘 森邦久 結城順一 吉田忠正

●写真協力
上本正春 小高利根子 小檜山毅彦 坪口勝弘 但馬一憲 中丸薫
羽生善治 松原光一 O・Ribeiro 和月伸宏
朝日新聞社 AFP AP 共同通信社 サン サンテレフォト
信濃毎日新聞社 集英社 朝鮮通信社 デジタルハウス 日本テレビ PANA通信社 「FRIDAY」 報知新聞社 毎日新聞社
ユニフォト・プレス 読売新聞社 ロイター WWP
疾走プロダクション 松竹 TOY'S FACTORY 日本コロムビア マルゴ・ピクチャーズ
岩崎ミュージアム The Barnes Foundation
NASA 日本将棋連盟 八王子将棋クラブ プレッセンス・ビルド

週刊YEAR BOOK 日録20世紀
第3巻第2号 通巻94号
雑誌 23713-1/19
Ⓛ-2001/1/1
T1123713010568

印刷　凸版印刷株式会社　製本　大村製本株式会社